

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590005001	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2J1) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2J1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sayaka.university gmail.com (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	sayaka.university gmail.com (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日 12:00~12:30 (メールにて事前に連絡必要)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	学生中心のアクティブラーニング型の授業です。授業開始から終了まで英語を使い続け、英語使用、および英語でのコミュニケーションに慣れることを目的とします。		
授業到達目標/Course goals	1・抵抗なく英語でコミュニケーションが図れるようになる。 2・音読練習を通し単語力・発音・リスニング力を向上させ、英語でのコミュニケーションをより円滑にするためのトレーニングが出来るようになる。 3・主体性をもって他者と協働し、プレゼンテーション成功の為に自ら考え実行に移すことができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above 様々なテーマについて英語で会話をします。瞬発的に自分の意見をまとめ発話します。 F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	Speaking Practice (15点) + プレゼンテーショングループ評価 (30点) + レポート提出 (15点) + e-learning教材学習テスト (40点) 合計100点のうち60点を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	・ e-learning 自学自習(合計30時間) ・ プレゼンテーション準備・授業内のグループミーティングの後、個人での英文作成などを実施(30分/回) ・ 音読練習復習(15分) ・ レポートの為に映画鑑賞及びレポート作成(合計10時間)		
キーワード/Keywords	アクティブラーニング		
教科書・教材・参考書/Materials	授業時にプリントを配布します。動画を用い、リスニング及び音読のトレーニングを行います。Speaking 練習の際は、実際の会話でなされると予測される様々なトピックをこちらで準備しますのでそれを用います。併せて学生さんが話したいと自ら思う内容の会話も授業中に皆さんとカードなどを作成し使用します。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考 (URL) /Remarks (URL)		
学生へのメッセージ/Message for students	これからの学習、及び社会で英語を実際に使えるように、この授業を通し英語を使うトレーニングをします。今まで学んできたリスニング力、語彙力、文法力を存分に活用し、クラスメイトとのコミュニケーションを試みてください。授業終了後に英語をアウトプットする事に慣れ、少しでも自信をつけてくれたら幸いです。全員、積極的に参加してください。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	株式会社イーオンにて大人・子供の英会話指導経験/現在英会話・日本語会話スクールLejet主宰	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回4月12日	Orientation Speaking activity Group activity	B C E
第2回4月19日	Listening activity Speaking activity Group activity	B C E
第3回4月26日	Listening activity Speaking activity Group activity	B C E
第4回5月10日	Listening activity Speaking practice Group activity	B C E
第5回5月17日	Listening activity Speaking activity Group activity	B C E
第6回5月24日	e-learning教材学習テスト1回目 Speaking activity Group activity	B C E
第7回5月31日	Presentation 1回目	B C
第8回6月7日	Listening practice Speaking practice Group activity	B C E
第9回6月14日	Listening practice Speaking practice Group activity	B C E
第10回6月21日	Listening activity Speaking practice Group activity	B C E
第11回6月28日	Listening activity Speaking practice Group activity	B C E
第12回7月5日	Listening activity Speaking practice Group activity	B C E
第13回7月12日	e-learning教材学習テスト2回目 Speaking practice Group activity	B C E
第14回7月19日	Presentation 2回目	B C

第15回7月26日	Listening activity Speaking practice Group activity	B C E
-----------	---	-------------

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590005002	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2J2) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	加島 巧 / Kashima Takumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	加島 巧 / Kashima Takumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	加島 巧 / Kashima Takumi		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2J2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kashimatakumi2020 yahoo.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業時間の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ねらい: 様々な英語の練習問題を解きながら、英語の理解を深め、コミュニケーション能力を高めてゆく。併せて、プリントの使用で、様々な英語の問題を解いてゆきます。		
授業到達目標/Course goals	到達目標: 大学入学時までに培われた総合力に加え、1年次に習得した英語力を元に、辞書無しでもテキストの英語を読めるようになることを目指します。TOEIC 650点を目指します。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験 60% (平常点を含む) e-learning教材学習テスト 40% (1回目 20% + 2回目 20%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	e-learning 自主学習 (合計30時間) 予習: 毎回指定された分量のテキストを読んで、授業に臨むこと。(1時間 / 回) 復習: 教科書やプリントを再読し、理解を確実にするように務めること。不明瞭は所は、次の授業で解決出来るように質問を整理しておくこと。(1時間 / 回)		
キーワード/Keywords	TOEIC 650		
教科書・教材・参考書/Materials	The TOEIC Test Trainer Target 650 Revised Edition (センゲージラーニング株式会社 生協で購入すること。)		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	定期試験の受検資格は大学の規定による。教科書は必ず購入すること。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談ください。 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	授業中の携帯電話の使用は厳禁とします。遅刻もしないように。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Introduction Pre-Test プリントを使用した学習も毎回行う。
第2回	提案-時制 1
第3回	確認-時制 2
第4回	会話を始める-助動詞
第5回	ニュース報道-フレーズリーディング
第6回	第1回 e-learning 教材学習テスト 義務-代名詞
第7回	理由-前置詞
第8回	苦情-接続詞
第9回	交通情報-スキニング
第10回	Yes / Noで答える質問-関係詞
第11回	意見-分詞構文
第12回	意見の一致・不一致-仮定法
第13回	第2回 e-learning 教材学習テスト 会議-スキミング
第14回	Post-test
第15回	まとめ

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590005003	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2J3) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2J3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	r_otsubo hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	r_otsubo hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	r_otsubo hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)にて受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	科学の文献を通し、健康、自然、宇宙について知見を深めていきます。また、Active Learningでは、各Unitで取り扱ったテーマに関して、自身の見解を発表してもらいます。		
授業到達目標/Course goals	1. テキストで扱うトピックを多角的視点から捉えることができるようになる。() 2. 論理的、批判的に物事を考える能力を身に付けることができるようになる。() 3. 適切な自己表現能力を身に付けることができるようになる。()		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	内容理解確認小テスト (10回×2点=20点) + writing・speaking (10点) + 定期試験 (30点) + e-learning教材学習テスト (40点) = 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	・ e-learning 自学自習 (合計30時間) ・ 予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また、小テストに向けた学習 (1時間/回) ・ 復習: 教科書を再読し、理解を確実にするよう努め、また、理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるよう整理しておくこと (1時間/回)		
キーワード/Keywords	科学、人間、健康、自然、宇宙、未来		
教科書・教材・参考書/Materials	Science Arena (成美堂) 1,900円 + 税		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	https://www.seibido.co.jp
学生へのメッセージ/Message for students	授業は必ず予習をして臨んでください。
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回（日時）/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回（4/12）	Introduction
第2回（4/19）	Unit 1 Real-Life Superhumans
第3回（4/26）	Unit 1 内容理解確認小テスト Unit 2 The 10,000-hour Rule
第4回（5/10）	Unit 2 内容理解確認小テスト Unit 3 Why are Human Brains So Big?
第5回（5/17）	Unit 3 内容理解確認小テスト Unit 4 The Advances of Sports Science
第6回（5/24）	e-learning教材学習テスト1回目 Unit 5 The End of Modern Medicine?
第7回（5/31）	Unit 5 内容理解確認小テスト Unit 6 Can You Get Smarter in Your Sleep?
第8回（6/7）	Unit 6 内容理解確認小テスト Unit 7 The Hidden Benefits of Boredom
第9回（6/14）	Unit 7 内容理解確認小テスト Unit 8 Fighting the Menace of Mosquitoes
第10回（6/21）	Unit 8 内容理解確認小テスト Unit 9 Growing Food in the Desert
第11回（6/28）	Unit 9 内容理解確認小テスト Unit 10 Learning from Nature
第12回（7/5）	Unit 10 内容理解確認小テスト Unit 11 Living at the Bottom of the World
第13回（7/12）	e-learning教材学習テスト2回目 Unit 12 The Great Pacific Garbage Patch
第14回（7/19）	Unit 12 内容理解確認小テスト Unit 13 The Most Mysterious Star in the Universe
第15回（7/26）	Unit 14 Space Flight for Everyone 総復習
第16回（8/2）	定期試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590005004	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2D1・2D2) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西原 真弓 / Nishihara Mayumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	西原 真弓 / Nishihara Mayumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	西原 真弓 / Nishihara Mayumi		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2D1・2D2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishihara kwassui.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後に質問を受けます。それ以外はメールで質問を受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	英語で、4技能(読む、聞く、話す、書く)を駆使しながら、情報を正確に理解し、自分が発信したいことを論理的にわかりやすく表現する能力を身につけることを目的とした授業です。「健康」をテーマとし、我々を取り巻く環境、日々の生活習慣や食物が健康に及ぼす影響について理解を深め、英語で発信していくことを目的としています。		
授業到達目標/Course goals	この授業を通して、以下のような力をつけていくことを目標としています。 1.健康をテーマとした英語で書かれた読み物や会話を理解した上で、その概要を自分なりに再構築し意見を加えて英語で発信することができるようになる。 2.英単語のコアのイメージを捉え、英語発信に必要な英語の表現力の幅をひろげることができる		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	e-learning教材学習テスト40% + 定期試験 40% + 毎回の小テスト 20% = 合計100点のうち、60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	e-learning 自学自習(合計30時間) 予習:教科書のリスニングセクションを聞き問題に答えてくること(1時間/回) 復習:教科書のリーディングセクションを復習し、次回の小テストに向けた学習をすること(1時間/回)		
キーワード / Keywords	英語運用能力、主体的、協同的学習		
教科書・教材・参考書 / Materials	Nishihara Toshiaki, Nishihara Mayumi, Amy Mukamuri 『Better Health for Every Day』(金星堂)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	健康を取り巻く身近な課題についての読み物や会話をもとに自分の考えや情報の共有をペアやグループでもらいます。自分から考えて行動することでグループワークを有意義なものにし、英語をできるだけたくさん使うようにしてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1回目	Unit 1 Fuel Your Body and Mind
2回目	Unit 2: What Helps Keep a Doctor Away?
3回目	Unit 3 Laughing Will Save You from Going Crazy
4回目	Unit 4 The French Paradox
5回目	Unit 5 American' Interest in Sushi
6回目	e-learning 教材テスト1回目 Unit 6 Don't Stay Away from Natto
7回目	Review Reading
8回目	Unit 7 Acute Alcohol Intoxication Can Kill You
9回目	Unit 8 Is Snoring a Bad Sign?
10回目	Unit 9 Getting a Good Night's Sleep is a Challenge
11回目	Unit 10 Chocolate and its Magical Power
12回目	Unit 11 The Health Risks of Eating Processed Food
13回目	e-learning 教材学習テスト2回目 Unit 12 Is Genetically Modified Food Safe Enough?
14回目	Unit 13 Environmental Health Threats
15回目	News Articles
16回目	定期試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590005005	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2T6) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	香川 実成 / Kagawa Jitusei		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	香川 実成 / Kagawa Jitusei		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	香川 実成 / Kagawa Jitusei		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2T6		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	jissei kwassui.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月曜日の授業の前夜		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングを有機的に関連づけ、各ユニットのトピックを学習する中で、インプットからアウトプットの流れの中で英語力を身につけていきます。		
授業到達目標 / Course goals	(1) 英語の母音、機能語と内容語におけるストレスの位置、同一単語の弱形、イントネーション、リンキング等の英語の発音に慣れ、それをアウトプット (スピーキング) で実践できるようになる。 (2) TOEICのParts 2, 3 & 6の形式に慣れ、IPにおいて6割以上正答できるようになる。 (3) 各ユニットにトピックについてインプット (リスニング&リーディング) した後、使用頻度の高い表現を使ってアウトプット (スピーキング、ライティング) できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	(1) e-learning教材学習テスト 40% (1回目 20% + 2回目 20%) (2) ユニット復習クイズ 20% (3) 定期試験 40%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	(1) e-learning自学自習 (合計30時間) (2) Reading Passageの予習 (3h/回) (3) ユニットクイズに備えての学習 (LACSテスト含む) (1h/回)		
キーワード / Keywords	TOEIC Parts 2, 3 & 6		
教科書・教材・参考書 / Materials	Arnold Arao, Kei Mihara, Yoshinori Minami & Hiroshi Kimura, Enjoying Different Cultures (グローバル化の中で学ぶ日本文化) 2020年、南雲堂		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	ユニットクイズの成績評価内訳を多めにしているので、予習・復習をしっかりとこなしてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Unit 1: College Sports (日米のスポーツ文化)
第2回	Unit 2: Homework (諸外国の宿題をする時間)
第3回	Unit 3: Tidying Up (学校でおこなう掃除に対する考え方)
第4回	Unit 4: School Schedules (日米の学校教育)
第5回	Unit 10: Napping in Public (なぜ人前で居眠りするの?)
第6回	e-learning教材学習テスト1回目 Unit 11: Parenting Styles (国によって異なる子育て)
第7回	Unit 12: Gender Segregation (女性の仕事観や管理職の格差)
第8回	Unit 13: Japanese Hospitality (顧客サービスの考え方)
第9回	Unit 14: Tax (国によって異なる消費税)
第10回	Unit 15: Returns (返品や返金の仕方)
第11回	Unit 16: Healthcare (日米の医療制度)
第12回	Unit 17: Vending Machines (日本の自販機の多さにビックリ)
第13回	e-learning教材学習テスト2回目 Unit 18: Toilets (世界のトイレ事情)
第14回	Unit 19: Rapid Transit System (安全・信頼・快適な日本の新幹線)
第15回	Unit 20: Cables in the Sky (送電線は地上か地球か?)

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590005006	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2T7) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2T7		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sayaka.university gmail.com (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	sayaka.university gmail.com (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日 12:00~12:30 (メールにて事前に連絡必要)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	学生中心のアクティブラーニング型の授業です。授業開始から終了まで英語を使い続け、英語使用、および英語でのコミュニケーションに慣れることを目的とします。		
授業到達目標/Course goals	1・抵抗なく英語でコミュニケーションが図れるようになる。 2・音読練習を通し単語力・発音・リスニング力を向上させ、英語でのコミュニケーションをより円滑にするためのトレーニングが出来るようになる。 3・主体性をもって他者と協働し、プレゼンテーション成功の為に自ら考え実行に移すことができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above 様々なテーマについて英語で会話をします。瞬発的に自分の意見をまとめ発話します。 F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	Speaking Practice (15点) + プレゼンテーショングループ評価 (30点) + レポート提出 (15点) + e-learning教材学習テスト (40点) 合計100点のうち60点を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	・ e-learning 自学自習 (合計30時間) ・ プレゼンテーション準備・授業内のグループミーティングの後、個人での英文作成などを実施 (30分/回) ・ 音読練習復習 (15分/回) ・ レポートの為に映画鑑賞及びレポート作成 (合計10時間)		
キーワード/Keywords	アクティブラーニング		
教科書・教材・参考書/Materials	授業時にプリントを配布します。動画を用い、リスニング及び音読のトレーニングを行います。Speaking 練習の際は、実際の会話でなされると予測される様々なトピックをこちらで準備しますのでそれを用います。併せて学生さんが話したいと自ら思う内容の会話も授業中に皆さんとカードなどを作成し使用します。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考 (URL) /Remarks (URL)		
学生へのメッセージ/Message for students	これからの学習、及び社会で英語を実際使えるように、この授業を通し英語を使うトレーニングをします。今まで学んできたリスニング力、語彙力、文法力を存分に活用し、クラスメイトとのコミュニケーションを試みてください。授業終了後に英語をアウトプットする事に慣れ、少しでも自信をつけてくれたら幸いです。全員、積極的に参加してください。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	株式会社イーオンにて大人・子供の英会話指導経験/現在英会話・日本語会話スクールLejet主宰	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回4月12日	Orientation Speaking activity Group activity	B C E
第2回4月19日	Listening activity Speaking activity Group activity	B C E
第3回4月26日	Listening activity Speaking activity Group activity	B C E
第4回5月10日	Listening activity Speaking practice Group activity	B C E
第5回5月17日	Listening activity Speaking activity Group activity	B C E
第6回5月24日	e-learning教材学習テスト1回目 Speaking activity Group activity	B C E
第7回5月31日	Presentation 1回目	B C
第8回6月7日	Listening practice Speaking practice Group activity	B C E
第9回6月14日	Listening practice Speaking practice Group activity	B C E
第10回6月21日	Listening activity Speaking practice Group activity	B C E
第11回6月28日	Listening activity Speaking practice Group activity	B C E
第12回7月5日	Listening activity Speaking practice Group activity	B C E
第13回7月12日	e-learning教材学習テスト2回目 Speaking practice Group activity	B C E
第14回7月19日	Presentation 2回目	B C

第15回7月26日	Listening activity Speaking practice Group activity	B C E
-----------	---	-------------

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590005007	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2T8) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉牟田 聡美 / Yoshimuta Satomi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉牟田 聡美 / Yoshimuta Satomi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉牟田 聡美 / Yoshimuta Satomi		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2T8		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sami kwassui.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後もしくはメールで随時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本授業の目的は、幅広い分野のアカデミックな読み物を読む力を向上させることです。効果的に読むためのスキルの得、アカデミックな語彙を増強を目指します。またテキストを通じて知らない世界への知識を深め、批判的思考のための視点をすることも試みます。		
授業到達目標/Course goals	1, 主体的にまた協同的に幅広い分野のアカデミックな英文を読むことができる。 2, テキストの内容やその他を学びグローバルな視点から批判的思考を実践することができる。 3, 実際に海外に旅行したコンテキストで使える表現を発信することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	課題(30%) + 期末テスト(30%) + e-learning 教材学習テスト(40%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	・ e-learning 自学自習 (合計 30 時間) ・ 予習: 事前に指定した教科書・教材に取り組むこと、また小テストに向けた学習 (1 時間 / 回) ・ 復習: 教科書・教材を再読し、理解を確実にするよう努め、また理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるように整理しておくこと (1 時間 / 回)		
キーワード/Keywords	リーディングストラテジー、ボキャブラリー増強、批判的思考 (クリティカルシンキング)		
教科書・教材・参考書/Materials	Let 's Read Aloud and Learn English "Going Abroad" (成美堂) 2200円		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	オンラインリソースを使いますのでパソコンかタブレットを持参してください。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	一緒に頑張りましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	外資系コンサルティング会社での通訳翻訳業務の経験に基づき、ビジネス英語について解説する。 第1回、ビジネスメール・メールのマナー他
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Orientation
第2回	Review quiz from the previous; Unit 1 This is my first trip abroad
第3回	Review quiz from the previous; Unit 2 Do you have anything to declare
第4回	Review quiz from the previous; Unit 3 How was your flight to Los Angeles?
第5回	Review quiz from the previous; Unit 4 Are you still feeling tired?
第6回	e-learning 教材学習テスト(1回目); quiz from the previous; Unit 5 What are we going to do in the afternoon?
第7回	Review quiz from the previous; Unit 6 It's called Niybtaub Groove
第8回	Review quiz from the previous; Unit 7 How would you like your steak?
第9回	Review quiz from the previous; Unit 8 How long have you felt this way?
第10回	Review quiz from the previous; Unit 9 I think I'm lost
第11回	Review quiz from the previous; Unit 10 Do you want me to take your picture?
第12回	Review quiz from the previous; Unit 11 I've lost my phone
第13回	e-learning 教材学習テスト(2回目); Review quiz from the previous; Unit 12 I love roller
第14回	Review quiz from the previous; Unit 13 Let me introduce my friend.
第15回	Review quiz from the previous; Unit 14 I'd like to pay by credit card.
第16回	期末試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590005008	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2T9) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	加島 巧 / Kashima Takumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	加島 巧 / Kashima Takumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	加島 巧 / Kashima Takumi		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2T9		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kashimatakumi2020 yahoo.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業時間の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ねらい: 様々な英語の練習問題を解きながら、英語の理解を深め、コミュニケーション能力を高めてゆく。併せて、プリントの使用で、様々な英語の問題を解いてゆきます。		
授業到達目標/Course goals	到達目標: 大学入学時までに培われた総合力に加え、1年次に習得した英語力を元に、辞書無しでもテキストの英語を読めるようになることを目指します。TOEIC 650点を目指します。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験 60% (平常点を含む) e-learning教材学習テスト 40% (1回目 20% + 2回目 20%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	e-learning 自主学習 (合計30時間) 予習: 毎回指定された分量のテキストを読んで、授業に臨むこと。(1時間 / 回) 復習: 教科書やプリントを再読し、理解を確実にするように務めること。不明瞭は所は、次の授業で解決出来るように質問を整理しておくこと。(1時間 / 回)		
キーワード/Keywords	TOEIC 650		
教科書・教材・参考書/Materials	The TOEIC Test Trainer Target 650 Revised Edition (センゲージラーニング株式会社 生協で購入すること。)		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	定期試験の受検資格は大学の規定による。教科書は必ず購入すること。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談ください。 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	授業中の携帯電話の使用は厳禁とします。遅刻もしないように。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Introduction Pre-test プリントを使用した学習も毎回行う。
第2回	提案-時制 1
第3回	提案-時制 2
第4回	会話を始める-助動詞
第5回	ニュース報道-フレーズリーディング
第6回	第1回 e-learning 教材学習テスト 義務-代名詞
第7回	理由-前置詞
第8回	苦情-接続詞
第9回	交通情報-スキミング
第10回	Yes / No で答える質問-関係詞
第11回	意見-分詞構文
第12回	意見の一致・不一致-仮定法
第13回	第2回 e-learning 教材学習テスト 会議-スキミング
第14回	Post-test
第15回	まとめ

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590005009	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2M1) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2M1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sayaka.university gmail.com (メールをする際は、を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	sayaka.university gmail.com (メールをする際は、を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日 12:00~12:30 (メールにて事前に連絡必要)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	学生中心のアクティブラーニング型の授業です。授業開始から終了まで英語を使い続け、英語使用、および英語でのコミュニケーションに慣れることを目的とします。		
授業到達目標/Course goals	<p>1・抵抗なく英語でコミュニケーションが図れるようになる。</p> <p>2・音読練習を通し単語力・発音・リスニング力を向上させ、英語でのコミュニケーションをより円滑にするためのトレーニングが出来るようになる。</p> <p>3・主体性をもって他者と協働し、プレゼンテーション成功の為に自ら考え実行に移すことができるようになる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>様々なテーマについて英語で会話をします。瞬発的に自分の意見をまとめ発話します。</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	Speaking Practice (15点) + プレゼンテーショングループ評価 (30点) + レポート提出 (15点) + e-learning教材学習テスト (40点) 合計100点のうち60点を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	<ul style="list-style-type: none"> ・ e-learning 自学自習 (合計30時間) ・ プレゼンテーション準備・授業内のグループミーティングの後、個人での英文作成などを実施 (30分/回) ・ 音読練習復習 (15分/回) ・ レポートの為に映画鑑賞及びレポート作成 (合計10時間) 		
キーワード / Keywords	アクティブラーニング		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業時にプリントを配布します。動画を用い、リスニング及び音読のトレーニングを行います。Speaking 練習の際は、実際の会話でなされると予測される様々なトピックをこちらで準備しますのでそれを用います。併せて学生さんが話したいと自ら思う内容の会話も授業中に皆さんとカードなどを作成し使用します。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考（URL）/Remarks（URL）		
学生へのメッセージ/Message for students	これからの学習、及び社会で英語を実際に使えるように、この授業を通し英語を使うトレーニングをします。今まで学んできたリスニング力、語彙力、文法力を存分に活用し、クラスメイトとのコミュニケーションを試みてください。授業終了後に英語をアウトプットする事に慣れ、少しでも自信をつけてくれたら幸いです。全員、積極的に参加してください。	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	株式会社イーオンにて大人・子供の英会話指導経験/現在英会話・日本語会話スクールLejet主宰	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回4月13日	Orientation Speaking activity Group activity	B C E
第2回4月20日	Listening activity Speaking activity Group activity	B C E
第3回4月27日	Listening activity Speaking activity Group activity	B C E
第4回5月11日	Listening activity Speaking activity Group activity	B C E
第5回5月18日	Listening activity Speaking activity Group activity	B C E
第6回5月25日	e-learning教材学習テスト1回目 Group activity Speaking activity Group activity	B C E
第7回6月1日	Presentation 1回目	B C
第8回6月8日	Listening practice Speaking practice Group activity	B C E
第9回6月15日	Listening practice Speaking practice Group activity	B C E
第10回6月22日	Listening activity Speaking practice Group activity	B C E
第11回6月29日	Listening activity Speaking practice Group activity	B C E
第12回7月6日	Listening activity Speaking practice Group activity	B C E
第13回7月13日	e-learning教材学習テスト2回目 Speaking practice Group activity	B C E
第14回7月20日	Presentation 2回目	B C

第15回7月27日	Listening activity Speaking practice Group activity	B C E
-----------	---	-------------

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590005010	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2M2) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	上村 俊彦 / Uemura Toshihiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	上村 俊彦 / Uemura Toshihiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	上村 俊彦 / Uemura Toshihiko		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2M2		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	yandi_sun.ac.jp (メールをする際は、を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	連絡はメールでお願いします		
担当教員オフィスアワー / Office hours	10:20 ~ 11:00		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	多様な英文テキスト、生の英語音声・映像の学習を通じて英語の受信・発信運用能力を高める。		
授業到達目標 / Course goals	英語の学習を通じて多様な世界に興味を持つとともに、日本の社会や文化を再認識する機会を持つ。自分の考えを基本的な英語を使い発信することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above 英文音読トレーニングを通じて英語発信能力の向上をはかる。 F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	e-learning教材学習テスト 40% クラスワーク 60% (中間・期末試験 40%、提出物・自律学習 20%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	eLearning学習 (合計30h) 事前: クラス学習範囲のオンライン音源・映像コンテンツの確認 (1/2h) 事後: DVD-ROMを用いた自律学習 (1h)		
キーワード / Keywords	GSE, CEFR B1 ~ B2		
教科書・教材・参考書 / Materials	Eales, F., Oakes, S. and Harrison, L. (2015). Speakout Upper-Intermediate 2e, Flexi Course Book 1with DVD-ROM. Harlow: Pearson Education Ltd.		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	毎回、Listening quizを課します。 教材、特にDVD-ROMを使った自律学習を習慣化してください。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)	www.english.com/speakout		

学生へのメッセージ/Message for students	クラスワークとともに、クラスコンテンツの音読ドリルを課外でも励行しましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1st period	Orientation Video contents read-aloud drill
2nd period	Unit 1 A (Reading) 30 days to a new life
3rd period	Listening Quiz Unit 1 B (Video) 50 things to do before you die
4th period	Listening Quiz Unit 1 C Workbook 1.1 - 1.3
5th period	Listening Quiz Unit 2 A (Reading) Local heroes
6th period	e-learning教材学習テスト: 1st test Unit 2 B (Video) A quiet revolution
7th period	Listening Quiz Unit 2 C (Workbook) 2.1 - 2.3; Review 1
8th period	Review Unit 1 & Unit 2 Midterm test
9th period	Unit 3 A (Reading) Performance of a lifetime?
10th period	Listening quiz Unit 3 B (Video) Tess of the D'Urbervilles
11th period	Listening quiz Unit 3 C (Workbook) 3.1 - 3.3
12th period	Listening quiz Unit 4 A (Reading) More free time than ever?
13th period	e-learning教材学習テスト: 2nd test Unit 4 B (Video) The happiness formula
14th period	Listening quiz Unit 5 A (Reading) The world's worst inventions
15th period	Listening quiz Unit 5B (Video) Genius

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590005011	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2M3) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉田 由美子 / Yumiko Yoshida		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉田 由美子 / Yumiko Yoshida		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉田 由美子 / Yumiko Yoshida		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2M3		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	noribei07142007 hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	noribei07142007 hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	様々なスタイルの英語に触れながら、インプット (reading, listening)、アウトプット (speaking, writing) を通して、英語の4技能を高める。		
授業到達目標 / Course goals	(1) 英語でのコミュニケーションをスムーズに行うことができる。 (2) 音読練習を通して、発音、リスニング力、表現力を高めることができる。 (3) イディオムを使った表現を理解し、コミュニケーション能力を高めることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	e-learning 教材学習テスト40%、プレゼンテーション、課題等30%、期末テスト30%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	・ e-learning 自学自習 (合計30時間) ・ 事前に指定した教科書の演習を行うこと。また毎回の課題を完成させ提出すること。(1時間/回) ・ Presentationの準備をしっかりと行うこと。(2時間/回)		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	Idiomatic American English		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第 1 回	Course Outline (導入)	C
第 2 回	Lesson 1	A
第 3 回	Lesson 2	A
第 4 回	Lesson 3	A
第 5 回	Lesson 12	A
第 6 回	e-learning 教材学習テスト 1 回目 Lesson 13	A
第 7 回	Presentation 1 回目	C
第 8 回	Lesson 15	A
第 9 回	Lesson 18	A
第 1 0 回	Lesson 19	A
第 1 1 回	Lesson 20	A
第 1 2 回	Lesson 25	A
第 1 3 回	e-learning 教材学習テスト 2 回目 Lesson 50	A
第 1 4 回	Lesson 51	A
第 1 5 回	Presentation 2 回目	C
第 1 6 回	The Final Exam	A

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590005012	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2M4) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2M4		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	soshi tea.ocn.ne.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業終了後 (授業時の教室)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	対話や会話といった、コミュニケーションを主要目的とする言葉のやりとりについては、なによりも相手を理解するための聴解力を基盤に持つことが必要である。発話力というのも聴解力あつての発話力であつて、聴解力さえ身につけば、発話力はそれに応じて自然にその進歩が期待できるものである。本講座では、これまで『聞く』ことにあまり時間を割いてこなかった学校教育の弊害を可能な限り克服する意味で、サバイバル英語 (及び米語)、必要最低限の英語 (及び米語)、を徹底的に学びながら、聴解力と発話力の増強を図ることを第一義的な目的に据えるものである。位置づけとしては、その能力促進に力点を置いたものと言える。		
授業到達目標 / Course goals	<p>英語音声学の知見に基づく授業を通して、英語の音変化の特徴や法則性を理解し、現状以上に英語聴解力を向上させることができる。</p> <p>習得した英語の音変化の特徴や法則性を日常英会話に応用させるべく、実際に英語を使ってコミュニケーションを図る際、円滑な意思の疎通を可能とする正確な発音ができる。</p> <p>習得した英語表現を日常英会話に応用させ、現状以上に英語発話力を向上させることができる。</p> <p>各種英語資格・検定試験等のリスニング部門で現状以上の得点をあげるとともに、実用英語運用能力を向上させることができる。</p> <p>英文の速読、及び直読直解ができる。</p> <p>日本と諸外国の市民レベルでの生活習慣や生活文化等の差異を正しく認識し、日本人とは異なる価値観や行動様式を持つ人々の存在と多様性を理解することができる。</p> <p>異文化理解の視座から、固定観念で物事を断定せず、常に判断の保留の気持ちと態度を持ってコミュニケーションを図ることができる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験50%、受講態度、及び授業中の自発的な演習活動 (授業中の発表等) 10%、e-learning教材学習テスト40% (1回目20% + 2回目20%) 等の総合判定によって評価を行なう。なお、課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	e-learning自学自習（合計30時間） 事前学習としては、予習時に前週の履修内容を再確認するとともに、出された課題には確実に取り組んで授業に臨んでいただきたい。事後学習としては、履修事項の復習と指示を行なった音声面のトレーニングを翌週の授業まで継続させておくことを必須としたい。（2時間/回）
キーワード/Keywords	音法、リピーティング、シャドーイング、オーバーラッピング、クイックレスポンス、直読直解、異文化理解
教科書・教材・参考書/Materials	英語リスニング 聞き取るための入門講座（ハンドアウト教材）
受講要件（履修条件）/Prerequisites	配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し、毎日のトレーニングを継続させることによって、実用英米語運用能力の促進が可能となる。従って、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。なお、授業時には発表活動（積極的かつ自発的な発言等）が求められるが、これをポイント制として成績評価の際に加点するため、自主的な姿勢で臨んでほしい。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	授業時には辞書必携です。授業時間内での学習のみで能力を促進させるには限界があるため、例えばNHK教育テレビやラジオの語学番組等を視聴、聴取するなど、とにかく毎日英語に接する時間を捻出することが望まれます。英語に親しむことを習慣にできれば上達は必ず期待できます。限られた時間ですが、一緒にがんばりましょう!!
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション（授業方針についての説明、教材の配布、アンケートほか） / 『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか？』分析結果の報告と対策法について
第2回	プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音/j/, /w/, /r/
第3回	/r/と//の発音、子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説
第4回	子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック
第5回	『音の連結』を聞き取るパターン（リエゾンの原則）、/t/, /d/, /g/の脱落、/t/, /d/のラ行音化
第6回	e-learning教材学習テスト（1回目）、連結しない場合の//, /h/の脱落、半母音/j/, /n+/t/と/n+/d/による音変化
第7回	『閉鎖音の連続による脱落』、『同じ子音の連続による脱落』を聞き取るパターン
第8回	『同化』を聞き取るパターン(1)（半母音/j/に絡む音変化）
第9回	『同化』を聞き取るパターン(2)（半母音/j/に絡む音変化）、『調音点が近い子音の連続』を聞き取るパターン
第10回	『同化』を聞き取るパターン(3)（/n/の後続音への影響）
第11回	On an Airplane(1)
第12回	On an Airplane(2)
第13回	e-learning教材学習テスト（2回目）、At an Airport(1)
第14回	At an Airport(2)
第15回	Taking a taxi、まとめ
第16回	定期試験 上記授業内容に関する補足 基本的な音法を習得した後に旅行英会話等への応用を試みるが、トレーニングに加え、毎回詳細に解説を施す予定であるため、上記の進度設定が変動する場合もある。

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590005013	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2M5) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	林田 朋子 / Hayashida Tomoko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	林田 朋子 / Hayashida Tomoko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	林田 朋子 / Hayashida Tomoko		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2M5		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hayashida72 wesleyan.ac.jp (メールをする際は、 @に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 (12:00 ~)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	国際化の進展に伴い、日本の医療現場においても英語コミュニケーション能力の必要性が高まっています。本授業では、実際の医療現場で想定される対話の練習、医療に関する簡単な文章の読解を通じて、現場で役立つ実践的な英語力の向上を目指します。		
授業到達目標 / Course goals	看護・医療現場で求められる語彙・表現を習得する。 医療現場を想定した対話文を用いて、コミュニケーションをとることができる。 医療に関する簡単な文章を読んで理解することができる。 世界における看護・医療の現状や文化の違いについて学び、自分の意見を述べるることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	・ e-learning教材学習テスト (40%) (テスト 20%、テスト 20%) ・ 単語テスト (10%) ・ Review Test (20%) ・ 英文レポート (20%) ・ 授業への姿勢 (出欠・遅刻・発言・提出物などを含む) (10%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	・ e-learning自学自習 (合計30h) ・ 毎回小テストをしますので、学習してきてください (2h) ・ 次回のテーマに関する課題を出します (2h)		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書・テキスト First Aid!: English for Nursing Akihiko Higuchi他著 (金星堂)、1,900円 + 税		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	授業ではペア・グループが多々あります。日頃から自分の意見を英語で言えるようになるよう、語彙・表現力を身に付けるよう努めてください。英語でのコミュニケーションを楽しめるようになりますように。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	guidance 授業の進め方、成績評価の説明等 コミュニケーション活動
第2回	Unit 1 First Visit to a Hospital 来院
第3回	Unit 2 How to Fill in a Registration Form 初診受付
第4回	Unit 3 Let's Ask Daily Activities 生活習慣を聞く
第5回	Unit 4 Symptoms 問診する（1）
第6回	e-learning教材学習テスト コミュニケーション活動
第7回	Unit 5 Medical Check up 1 脈拍、血圧、体重の測定
第8回	Unit 6 Medical Check up 2 採血、採尿
第9回	Reviewテスト もしくはSkit Presentation
第10回	Unit 7 Diagnosis 診断結果（1）
第11回	Unit 8 Symptoms 問診する（2）
第12回	Unit 9 Let's Ask More about Symptoms 症状をより詳しく聞く
第13回	e-learning教材学習テスト コミュニケーション活動
第14回	Unit 10 Explaining Blood Test Results 診断結果（2）
第15回	Unit 11 How to Take Medicine 薬の説明

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590005014	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2M6) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	川島 浩勝 / Kawashima Hirokatsu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	川島 浩勝 / Kawashima Hirokatsu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	川島 浩勝 / Kawashima Hirokatsu		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2M6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kawashima tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。) 注意:メールのマナー(ビジネスレター等)が守られている場合のみ、返信し、対応する。		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel	095-840-2000 (長崎外国語大学)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後、質問を受けつける。また、話し合いにより、後日、時間を設定する場合がある。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	英語によるコミュニケーションを円滑に行うのに必要とされる口語英語の理解能力の基礎を作る。		
授業到達目標/Course goals	本授業の到達目標は、1)口語英語のスピード・イントネーション・リズムに対応できる、2)リスニングに対応できる語彙数を増やす、3)英語のミニマルペアーの聞き分けができる、4)英語のミニマルペアーを正しく発音できる、5)英語の連続音を正しく理解し、聞き取ることができる、である。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	基本的に、e-learning教材学習テスト40%・課題30%・期末試験30%で総合的に評価するが、授業の進度等により課題30%・期末試験30%に関しては、割合を若干変更することがある。なお、欠席1回でマイナス7点(正当な理由がある場合は考慮する)となる等の「授業ルール」があるので注意すること。詳細は、授業で配布する資料を参照すること。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	1) e-learning自学学習:合計30時間 2) 課題:毎回2時間の課題が出される(ネット上のニュース等を見て、新しい単語や表現等を整理したり、内容に対して自分の意見をまとめる等)。		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	基本的にはプリント教材を配布するが、授業中実施する英語力診断テストの結果によっては、副教材を購入する場合がある。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	英語学習の意義を再度考え、課題に意欲的に取り組んで欲しい。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業方針の説明・英語力診断テスト
第2回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと口語英語の理解・整理1
第3回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと口語英語の理解・整理2
第4回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと口語英語の理解・整理3
第5回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングとリスニングに対応した語彙力のアップ1
第6回	e-learning教材学習テスト(1回目) アメリカのドラマを題材にしたリスニングとリスニングに対応した語彙力のアップ2
第7回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングとリスニングに対応した語彙力のアップ3
第8回	第2回目から第7回目の授業のまとめ、フィードバック
第9回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと母音・子音のミニマルペアーの整理・理解1
第10回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと母音・子音のミニマルペアーの整理・理解2
第11回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと母音・子音のミニマルペアーの整理・理解3
第12回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと連続音の整理・理解1
第13回	e-learning教材学習テスト(2回目) アメリカのドラマを題材にしたリスニングと連続音の整理・理解2
第14回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと連続音の整理・理解3
第15回	授業全体のまとめ、フィードバック
第16回	学期末試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590005015	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2L3) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉田 由美子 / Yumiko Yoshida		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉田 由美子 / Yumiko Yoshida		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉田 由美子 / Yumiko Yoshida		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2L3		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	noribei07142007 hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	noribei07142007 hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	様々なスタイルの英語にふれながら、インプット (reading, listening) 及び、アウトプット (speaking, writing) を通して、英語の4技能を高める。		
授業到達目標 / Course goals	(1) 英語でのコミュニケーションをスムーズに行うことができる。 (2) 音読練習を通して、発音、リスニング力、表現力を高めることができる。 (3) イディオムを使った表現を理解し、コミュニケーション能力を高めることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	e-learning教材学習テスト40%、プレゼンテーション・課題等30%、期末テスト30%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	・ e-learning 自学自習 (合計30時間) ・ 事前に指定した教科書の演習を行うこと。また毎回の課題を完成させ提出すること。 ・ Presentationの準備をしっかりと行うこと。(2時間)		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	Idiomatic American English		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第 1 回	Course Outline (導入)	A
第 2 回	Lesson 1	A
第 3 回	Lesson 2	A
第 4 回	Lesson 3	A
第 5 回	Lesson 12	A
第 6 回	Lesson 13	A
第 7 回	e-learning教材学習テスト 1 回目 Lesson 15	A
第 8 回	Presentation 1 回目	C
第 9 回	Lesson 18	A
第 1 0 回	Lesson 19	A
第 1 1 回	Lesson 20	A
第 1 2 回	Lesson 25	A
第 1 3 回	Lesson 50	A
第 1 4 回	e-learning教材学習テスト 2 回目 Lesson 51	A
第 1 5 回	Presentation 2 回目	C
第 1 6 回	The Final Exam	A

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590005016	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2L4) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2L4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	akinatsuhana3 gmail.com (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日 12:10 ~ 12:30、14:30 ~ 15:00 (メールで事前に連絡してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	多様なジャンルの英語を教材にして、海外の文化やグローバル社会に向けての関心と知識を広げ、英語学習に対するモチベーションの向上を図る参加型の授業です。最近の話題や出来事について英語で情報を得ること、自分の考えを平易な英語で簡潔に伝えること、身近な場面で遭遇する語彙・表現を使う会話演習を通じて、総合的な英語力を身につけていきます。		
授業到達目標/Course goals	<p>テーマについて英語で情報を得ることを楽しみ、より広く深く考察できるようになる</p> <p>平易な英語で自分の考えを簡潔に伝えられるようになる</p> <p>音読演習を通して、英語音声の特徴に慣れ親しみ、自らのリスニング、スピーキングに役立てることができるようになる</p> <p>臆せずに英語でクラスメートと会話することを楽しめる</p> <p>自らの英語学習について継続して学びたいという意欲を持てるようになる</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<p>e-learning教材学習テスト (2回) : 40%</p> <p>授業の取り組み : 20%</p> <p>課題・発表 : 20%</p> <p>期末テスト : 20%</p>		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<p>e-learning自学自習 (合計30時間)</p> <p>予習: 教材の予習および課題 (1時間/回)</p> <p>復習: 配布資料の音読と課題の見直し (30分/回)</p>		
キーワード/Keywords	英語4技能の習得		
教科書・教材・参考書/Materials	配布・配信教材		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考（URL）/Remarks（URL）		
学生へのメッセージ/Message for students	テーマごとに英語の読解、リスニングや会話演習をします。最近の世界の話題（ニュース、SNS、スピーチ、映画等）から教材を紹介していきます。英語を教養として考え、情報を英語で収集することやアウトプットすることを楽しめるようになります。	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	西アフリカのUNICEF事務所にJPOとして2年間勤務・時事英語や国際社会でコミュニケーションをとる際に役立つ実践的な英語を適宜授業に取り入れている	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	Course Introduction	A B
第2回	Listening & Reading (1): プリント教材による会話演習	A B
第3回	Listening & Reading (2): プリント教材による会話演習	A B
第4回	Listening & Reading (3): プリント教材による会話演習	A B
第5回	Listening & Reading (4): プリント教材による会話演習	A B
第6回	Listening & Reading (5): プリント教材による会話演習	A B
第7回	e-learning 教材学習テスト 1回目 プリント教材による会話演習	A B D
第8回	Listening & Reading (6): プリント教材による会話演習	A B
第9回	Listening & Reading (7): プリント教材による会話演習	A B
第10回	Listening & Reading (8): プリント教材による会話演習	A B
第11回	Listening & Reading (9): プリント教材による会話演習	A B
第12回	Presentation	A B
第13回	Presentation	A B
第14回	e-learning 教材学習テスト 2回目 プリント教材による会話演習	A B
第15回	Course Review	A B
第16回	Final Exam	A D

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590005017	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2L1) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	濱崎 大 / Hamasaki Dai		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	濱崎 大 / Hamasaki Dai		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	濱崎 大 / Hamasaki Dai		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2L1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hamasaki_dai@campus.nias.ac.jp (メールをする際は、を@に置き換えてください。) 欠席報告はメールではなく、後日届けを提出してください。		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	非常勤講師室在中可 時間帯は講義にてお知らせいたします。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	英語でコミュニケーションを成立させるための様々なスキルを考え、これを実践します。今それぞれが持てる英語力で、最大限のコミュニケーション能力を習得出来るようにします。頭で英文を思い描くために、核となるイメージを養っていきます。また、Group Workを通して、コミュニケーションも豊かにとれるよう積極性を持てるようにします。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次に学ぶ英語コミュニケーションのセンテンスパターンを応用できるようになる。 ・将来的に自らが遭遇する日常レベル、またアカデミックレベルの英会話に必要なスキルを自己判断できるようになる。 ・PDCA (Plan/Do/Check/Act) のサイクルを繰り返し行い、問題発見と解決ができるようになる。 ・効果的な傾聴力と主張力を身につけることができる。 ・プレゼンテーションができるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	Positive Class Participation 15% (講義中の睡眠、携帯操作等マイナス態度) e-learning教材学習テスト 40% (3 Step・PowerWords、1回目20%、2回目20%) 課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。 Mid-Term Examination 15% Final Examination 30%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	e-learning自学自習（合計30時間） 事前学習と事後学習を毎週最低でも学内で2時間、自宅で2時間行うこと。 事前学習においては、講義を効率よく受けられるために理解している部分と、そうでない部分を「仕分け」すること。また、覚えていない（知らない）単語や句は調べておくこと。独自で選択したテーマにそった調べ学習を行い、そのテーマについての知識を増やしておくこと。 事後学習においては、講義で新しく学んだキーワードや語句をピックアップし、習得したといえるレベルになるまで学習を行うこと。毎回講義で学んだ項目と照らし合わせて、選択したテーマの知識を英語でアウトプットできるようにしておくこと。
キーワード/Keywords	・脱受験英語 イメージからの英語表現へ ・効果的なプレゼン
教科書・教材・参考書/Materials	Let's Make a Skit Presentation（英宝社） 各自持っている参考書、辞書（英和、和英） この授業では、辞書はかなり重要です。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	全講義出席が原則。ただし、正当な理由で欠席する場合は個人指導を行う。（課外クラブ活動に関しては正当な理由とは認められません。）講義、演習の妨害行為は大人としてのモラルをもって自重してください。（スマートフォンの操作等） 無断遅刻・欠席回数1/3以上はClass Attendance and Participationを0%と致します。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	中間、期末テストはGroup Workになり、Group内でのコミュニケーションも非常に重要になります。無断欠席、遅刻などは他の受講者にも非常に迷惑をかけることになるので、必ず責任ある態度で講義に望んでください。特に再履修の学生は、この点をよく考えてから決断してください。 e-learning教材学習テスト詳細は担当教員により授業時に説明が行われます。また、掲示にもよく注意しておいてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 4/8	Introduction 英語とコミュニケーションスキル 学期の授業進行、教科書、e-learning教材学習の解説、その他注意事項、教科書販売
第2回 4/15	Unit 1 言語機能別英会話(1) Group Making PDCAの解説
第3回 4/22	Unit 2,3 言語機能別英会話(2)、主語として便利なwe, you, they Mid-Term Examinationへ向けてTopicを決定
第4回 5/6	Unit4,5 疑問文のパターン(1),(2)
第5回 5/13	Unit 6,7 助動詞を使った文(1),(2)
第6回 5/20	Unit1~6 効果的な表現；日本語と英語の比較 調査した表現・これまでの授業で学んだ文法の確認 伝えたいことが伝えられているのだろうか？
第7回 5/27	e-learning 教材学習テスト1回目 PDCA再考 Preparation for the Mid-Term: 最終確認（ループリックを参考にして）
第8回 6/3	Mid-Term Examination; Skit Presentation (Group work) Mid-Term Examinationの反省点と修正点の分析
第9回 6/10	Mid-Term Examination; Skit Presentation (Group work) Mid-Term Examinationの反省点と修正点の分析

第10回 6/17	Unit 8,9 名詞節を使った文(1),(2) Group Making Topicの決定、Mid-Term Examinationの振り返りと修正点の共有 Final Examinationに向けてGroupとしての取り決め(反省点をいかして)
第11回 6/24	Unit 10,11,12 完了形の文、進行形、受動態の文、比較や程度を表す文
第12回 7/1	Unit 10,11,12 完了形の文、進行形、受動態の文、比較や程度を表す文
第13回 7/8	Unit 13,14,15 意識して動詞のパターンを話そう!
第14回 7/15	e-learning 教材学習テスト2回目 Unit 13,14,15 意識して動詞のパターンを話そう! Final Examの準備(Mid-Term Examを省みて修正した事項、ループリックを参考にして最終確認)
第15回 7/29	Final Examination, Group Presentation
第16回 8/5	Final Examination, Group Presentation

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590005018	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2L2) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	藤内 則光 / Fujiuti Norimitu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	藤内 則光 / Fujiuti Norimitu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	藤内 則光 / Fujiuti Norimitu		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2L2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	fujiuchi tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (メールをする際は、を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-840-2000		
担当教員オフィスアワー/Office hours	外語大335研究室にて随時・要確認		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	この授業では、伝達手段としての英語の基本的な技能と、特に読解能力と聴取能力の相関関係を解説した後、読解と聴解の能力を総合的に向上させる訓練を行う。最終的には、「読んで分かる英語」から「聞いて分かる英語」へと、受講生の英語力を向上させる。		
授業到達目標/Course goals	英語のテレビ放送を視聴理解することができるようになり、またその内容を説明できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	主教材より 各単元課題英作文・ナレーション 計20% 最終課題英語プレゼンテーション作成 20% 平常点20%(英作文提出と副教材解答結果提出) e-learning 教材学習テスト40%(1回目 20% + 2回目 20%) e-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	・ e-learning 自学自習(合計30時間) ・ 予習: 授業の範囲は可能であれば学生のリクエストを聴くので、予習プログラムに沿った教科書の範囲に目を通し、事前に音源を聞いてくること(1時間/回) ・ 復習: 教科書を再読し、理解を確実にするよう努めること(1時間/回)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	主教材: NHK NEWSLINE4(金星堂) 副教材: Campus Listening(成美堂)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	教科書を購入し、発音記号が載っている英和辞典を必ず携行して授業に臨むこと。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	この講義では、DVD素材を利用して音読訓練を行います。タイムを指定して音読させるタイムアタック、テキストを後追いさせるオーバーラッピング、シャドウイングなど、学生の習熟度を診て判断します。
学生へのメッセージ/Message for students	DVDを見て、放送を一通り音読で真似てみる程度の事前訓練をしてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	4/8 オリエンテーション、期末試験の仕様発表、講義の心得確認
第2回	4/15 副教材 Unit 1、主教材 教科書 新章ルーティーン
第3回	4/22 副教材 Unit 3、主教材 教科書 新章ルーティーン
第4回	5/6 副教材 Unit 4、主教材 教科書 次章ルーティーン
第5回	5/13 副教材 Unit 5、主教材 教科書 次章ルーティーン
第6回	5/20 副教材 Unit 6、主教材 教科書 次章ルーティーン
第7回	5/27 e-learning教材学習テスト第一回目 副教材 Unit 7、主教材 教科書 次章ルーティーン
第8回	6/3 副教材 Unit 8、主教材 教科書 次章ルーティーン
第9回	6/10 副教材 Unit 9、主教材 教科書 次章ルーティーン
第10回	6/17 副教材 Unit 11、主教材 教科書 次章ルーティーン
第11回	6/24 副教材 Unit 12、主教材 教科書 次章ルーティーン
第12回	7/1 副教材 Unit 13、主教材 教科書 次章ルーティーン
第13回	7/8 副教材 Unit 14、主教材 教科書 次章ルーティーン
第14回	7/15 e-learning教材学習テスト第二回目 副教材 Unit 21、主教材 教科書 次章ルーティーン
第15回	7/29 副教材 Unit 24、主教材 教科書 次章ルーティーン 終了
第16回	8/5 定期試験 90分、提出物最終締め切り

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590005019	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2P1) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山口 敦子 / Yamaguti Atuko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	山口 敦子 / Yamaguti Atuko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	山口 敦子 / Yamaguti Atuko		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2P1		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	a_yamaguchi n-junshin.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	095-846-0084		
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	若者にとって興味深い内容の映画を視聴しながら、内容を理解し、リスニング力や語彙力、表現力を強化する。また映画の内容に関連した文化的、或いは社会的なトピックに関して、英語のプレゼンテーションを行う。		
授業到達目標 / Course goals	映画の中の生き生きとした英語を聞くことで、リスニング力を向上させ、内容をおおまかに把握できるようになる。さらに英語で自分の意見やコメントをまとめ、論理的に表現することができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above プレゼンテーション F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	プレゼンテーション 20% 定期試験 40% e-learning教材学習テスト40% (1回目20% + 2回目20%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	e-learning 自学自習 (合計30時間) 予習: 各ユニットの練習問題を予習し、テキストの指定された範囲に目を通すこと。またプレゼンテーションの準備 (1時間 / 回) 復習: 授業中に取り上げたテキストの箇所や練習問題を再読し、期末試験に備えておく。(30分 / 回)		
キーワード / Keywords	リスニング、プレゼンテーション、語彙、文化、英詩、映画		
教科書・教材・参考書 / Materials	『Dead Poets Society 今を生きる』(音羽書房鶴見書店)		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	毎回練習問題や課題の予習をして授業に臨むこと		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	若者にとって興味深く、文化的背景に広がりのある映画を教材として取り上げています。映画を言語的、そして文化的に理解する楽しさが、きっと英語の学習意欲を高めてくれるでしょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業の進め方について プレゼンテーションについての説明 映画Dead Poets Society についての説明と鑑賞
第2回	Unit 1: A New Semester 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク
第3回	Unit 2: Seize the Day 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク
第4回	Unit 3: An Invitation to Poetry 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク
第5回	Unit 4: Free Thinkers 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク 、 プレゼンテーション
第6回	Unit 5: Dead Poets Society 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク
第7回	e-learning 教材学習テスト1回目 Unit 6: Your Own Voice 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク 、 プレゼンテーション
第8回	Unit 7: Poetry Class 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク 、 プレゼンテーション
第9回	Unit 8: Conformity vs. Individuality 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク 、 プレゼンテーション
第10回	Unit 9: Time for Action 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク 、 プレゼンテーション
第11回	Unit 10: Father and Son 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク 、 プレゼンテーション
第12回	Unit 11: A Midsummer Night's Dream 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク 、 プレゼンテーション
第13回	Unit 12: The End of the Society 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク

第14回	e-learning 教材学習テスト2回目 Unit 13: Betrayal 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明,ペアワーク或いはグループワーク、 プレゼンテーション
第15回	Unit 14: Oh, Captain! My Captain! 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明,ペアワーク或いはグループワーク、 プレゼンテーション
第16回	定期試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590005020	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2P2) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	隈上 麻衣 / Kumagami Mai		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	隈上 麻衣 / Kumagami Mai		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	隈上 麻衣 / Kumagami Mai		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2P2		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	mkumagami nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 @に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	環境科学部実験棟1階		
担当教員TEL / Tel	095-819-2172		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜3限(別の時間を希望の場合は、メールによるアポイントメントにて随時受け付ける)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	本授業では、下記のテキストを使用し、リスニング・スピーキングの力を向上させる。英語の音の特徴を概観し、それを意識した上で聞き取り練習や発音練習(音読)を繰り返し行い、英語を運用するための基礎力を養う。		
授業到達目標 / Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なトピックを扱うことにより語彙力などの基礎力を向上させ科学的な内容についても概要を捉えることができるようになる。 ・英語の会話・談話の大意が素早く掴めるようになる。 ・与えられた課題に関して、論理的かつ簡潔に自分の意見が述べられるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	積極的な授業への参加 (10%), プレゼンテーション (30%), 小テスト(20%), e-learning教材学習テスト 40%(1回目 20%+2回目 20%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	毎回予習を兼ねて小テストを実施する。教科書の語彙を学習してくる。その他予習・復習、課題の詳細は授業内およびLACS上で指示する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ e-learning 自学自習(合計 30 時間) ・ 予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習(1 時間/回) ・ 復習: 教科書やプリントを再読し、理解を確実にするよう努め、また理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるよう整理しておくこと(1 時間/回) 		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	English through Active Learning, 朝日出版		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考(URL)/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	隈上 麻衣/アメリカの日本人学校(補習校)での勤務経験/海外での日本語教育・初等教育経験がある教員が,多言語使用環境での教育に関する知識・経験を活かし,第二言語学習者の知識状態や発達過程について講義を行う。/ニューヨーク育英学園
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回: 4/8	Orientation
第2回: 4/15	Unit 1 Speech (Self-Introduction)
第3回: 4/22	Unit 2, E-mail writing (1)
第4回: 5/6	Unit 3, E-mail writing (2)
第5回: 5/13	Unit 4, Pronunciation
第6回: 5/20	Unit 5, Pronunciation
第7回: 5/27	e-learning教材学習テスト1回目 Unit 6
第8回: 6/3	Unit 7, Brain storming
第9回: 6/10	Unit 8, Brain storming
第10回: 6/17	Unit 9, Presentation preparation
第11回: 6/24	Unit 10, Presentation preparation
第12回: 7/1	Unit 11, Presentation preparation
第13回: 7/8	Unit12 Presentation
第14回: 7/15	e-learning教材学習テスト2回目 Presentation
第15回: 7/29	Presentation

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/01/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590005021	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2K1) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2K1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sayaka.university gmail.com (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	sayaka.university gmail.com (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日 12:00~12:30 (メールにて事前に連絡必要)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	学生中心のアクティブラーニング型の授業です。授業開始から終了まで英語を使い続け、英語使用、および英語でのコミュニケーションに慣れることを目的とします。		
授業到達目標/Course goals	<p>1・抵抗なく英語でコミュニケーションが図れるようになる。</p> <p>2・音読練習を通し単語力・発音・リスニング力を向上させ、英語でのコミュニケーションをより円滑にするためのトレーニングが出来るようになる。</p> <p>3・主体性をもって他者と協働し、プレゼンテーション成功の為に自ら考え実行に移すことができるようになる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>様々なテーマについて英語で会話をします。瞬発的に自分の意見をまとめ発話します。</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	Speaking Practice (15点) + プレゼンテーショングループ評価 (30点) + レポート提出 (15点) + e-learning教材学習テスト (40点) 合計100点のうち60点を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<ul style="list-style-type: none"> ・ e-learning 自学自習 (合計30時間) ・ プレゼンテーション準備・授業内のグループミーティングの後、個人での英文作成などを実施 (30分/回) ・ 音読練習復習 (15分/回) ・ レポートの為に映画鑑賞及びレポート作成 (合計10時間) 		
キーワード/Keywords	アクティブラーニング		
教科書・教材・参考書/Materials	授業時にプリントを配布します。動画を用い、リスニング及び音読のトレーニングを行います。Speaking 練習の際は、実際の会話でなされると予測される様々なトピックをこちらで準備しますのでそれを用います。併せて学生さんが話したいと自ら思う内容の会話も授業中に皆さんとカードなどを作成し使用します。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考（URL）/Remarks（URL）		
学生へのメッセージ/Message for students	これからの学習、及び社会で英語を実際に使えるように、この授業を通し英語を使うトレーニングをします。今まで学んできたリスニング力、語彙力、文法力を存分に活用し、クラスメイトとのコミュニケーションを試みてください。授業終了後に英語をアウトプットする事に慣れ、少しでも自信をつけてくれたら幸いです。全員、積極的に参加してください。	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	株式会社イーオンにて大人・子供の英会話指導経験/現在英会話・日本語会話スクールLejet主宰	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回10月4日	Orientation Speaking activity Group activity	B C E
第2回10月11日	Listening activity Speaking activity Group activity	B C E
第3回10月18日	Listening activity Speaking activity Group activity	B C E
第4回10月25日	Listening activity Speaking practice Group activity	B C E
第5回11月1日	Listening activity Speaking practice Group activity	B C E
第6回11月8日	e-learning教材学習テスト1回目 Speaking activity Group activity	B C E
第7回11月15日	Presentation 1回目	B C
第8回11月22日	Listening practice Speaking practice Group activity	B C E
第9回11月29日	Listening practice Speaking practice Group activity	B C E
第10回12月6日	Listening activity Speaking practice Group activity	B C E
第11回12月13日	e-learning教材学習テスト2回目 Speaking practice Group activity	B C E
第12回12月20日	Listening activity Speaking practice Group activity	B C E
第13回1月17日	Listening activity Speaking practice Group activity	B C E
第14回1月24日	Presentation 2回目	B C

第15回1月31日	Listening activity Speaking practice Group activity	B C E
-----------	---	-------------

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/01/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590005022	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2K2) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	加島 巧 / Kashima Takumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	加島 巧 / Kashima Takumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	加島 巧 / Kashima Takumi		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2K2		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kashimatakumi2020 yahoo.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業時間の前後		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	ねらい: 様々な英語の練習問題を解きながら、英語の理解を深め、コミュニケーション能力を高めてゆく。併せて、プリントの使用で、様々な英語の問題を解いてゆきます。		
授業到達目標 / Course goals	到達目標: 大学入学時までに培われた総合力に加え、1年次に習得した英語力を元に、辞書無しでもテキストの英語を読めるようになることを目指します。TOEIC 650点を目指します。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験 60% (平常点を含む) e-learning教材学習テスト 40% (1回目 20% + 2回目 20%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	e-learning 自主学習 (合計30時間) 予習: 毎回指定された分量のテキストを読んで、授業に臨むこと。(1時間 / 回) 復習: 教科書やプリントを再読し、理解を確実にするように務めること。不明瞭は所は、次の授業で解決出来るように質問を整理しておくこと。(1時間 / 回)		
キーワード / Keywords	TOEIC 650		
教科書・教材・参考書 / Materials	The TOEIC Test Trainer Target 650 Revised Edition (センゲージラーニング株式会社 生協で購入すること。)		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	定期試験の受検資格は大学の規定による。教科書は必ず購入すること。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談ください。 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	授業中の携帯電話の使用は厳禁とします。遅刻もしないように。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Introduction Pre-Test プリントを使用した学習は毎回行う。
第2回	提案-時制 1
第3回	確認-時制 2
第4回	会話を始める-助動詞
第5回	ニュース報道-フレーズリーディング
第6回	第1回 e-learning 教材学習テスト 義務-代名詞
第7回	理由-前置詞
第8回	苦情-接続詞
第9回	交通情報 スキャニング
第10回	Yes / No で答える質問-関係詞
第11回	第2回 e-learning 教材学習テスト 意見-分詞構文
第12回	意見の一致-不一致-仮定法
第13回	会議-スキミング
第14回	Post-test
第15回	まとめ

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/01/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590005023	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2K3) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2K3		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	r_otsubo hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	r_otsubo hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	r_otsubo hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)にて受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	この授業は、気候変動、飢餓問題、プラスチックごみ問題など、私たちの抱えるあらゆる問題を取り上げた記事を通して、これらの問題について理解を深め、記事に対する自身の考えをグループディスカッションでアウトプットする力をつけていきます。		
授業到達目標 / Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1. テキストで扱うトピックを多角的視点から捉えることができるようになる。 2. 論理的・批判的に物事を考えることができるようになる。 3. 適切な自己表現能力を身に付けることができるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	内容理解確認小テスト (10回 × 2点 = 20点) + writing・speaking (10点) + 定期試験 (30点) + e-learning教材学習テスト (40点) = 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	<ul style="list-style-type: none"> ・ e-learning 自学自習 (合計30時間) ・ 予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また、小テストに向けた学習 (1時間 / 回) ・ 復習: 教科書を再読し、理解を確実にするよう努め、また、理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるよう整理しておくこと (1時間 / 回) 		
キーワード / Keywords	SDGs		
教科書・教材・参考書 / Materials	Living as Global Citizens (南雲堂) 2,530円		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	授業は必ず予習をして臨んでください。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 (10/4)	Introduction
第2回 (10/11)	Chapter 1 Global Perspectives
第3回 (10/18)	Chapter 1 内容理解確認小テスト Chapter 2 Climate Change
第4回 (10/25)	Chapter 2 内容理解確認小テスト Chapter 3 Water
第5回 (11/1)	Chapter 3 内容理解確認小テスト Chapter 4 Clean Energy
第6回 (11/8)	e-learning 教材学習テスト1回目 Chapter 5 Poverty
第7回 (11/15)	Chapter 5 内容理解確認小テスト Chapter 6 Hunger
第8回 (11/22)	Chapter 6 内容理解確認小テスト Chapter 7 Children
第9回 (11/29)	Chapter 7 内容理解確認小テスト Chapter 8 Gender
第10回 (12/6)	Chapter 8 内容理解確認小テスト Chapter 9 Refugees
第11回 (12/13)	e-learning 教材学習テスト2回目 Chapter 10 Insects
第12回 (12/20)	Chapter 10 内容理解確認小テスト Chapter 11 Vegetarianism
第13回 (1/17)	Chapter 11 内容理解確認小テスト Chapter 12 Plastic Waste
第14回 (1/24)	Chapter 12 内容理解確認小テスト Chapter 13 Shopping
第15回 (1/31)	Chapter 14 Partnership 総復習
第16回 (2/7)	定期試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/01/25		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590005024	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2T1) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉田 由美子 / Yumiko Yoshida		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉田 由美子 / Yumiko Yoshida		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉田 由美子 / Yumiko Yoshida		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2T1		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	noribei07142007 hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	noribei07142007 hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	様々なスタイルの英語に触れながら、インプット (reading, listening) 及び、アウトプット (speaking, writing) を通して、英語の4技能を高める。		
授業到達目標 / Course goals	(1) 英語でのコミュニケーションをスムーズに行うことができる。 (2) 音読練習を通して、発音、リスニング力、表現力を高めることができる。 (3) イディオムを使った表現を理解し、コミュニケーション能力を高めることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	e-learning教材学習テスト40%、プレゼンテーション・課題等30%、期末テスト30%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	・ e-learning 自学自習 (合計30時間) ・ 事前に指定した演習を行うこと。また毎回の課題を完成させ提出すること。(1時間/回) ・ Presentationの準備をしっかりと行うこと(2時間)		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	Idiomatic American English		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第 1 回	Course Outline (導入)	A
第 2 回	Lesson 20	A
第 3 回	Lesson 25	A
第 4 回	Lesson 45	A
第 5 回	Lesson 49	A
第 6 回	Lesson 50	A
第 7 回	e-learning教材学習テスト 1 回目 Lesson 51	A
第 8 回	Presentation 1 回目	C
第 9 回	Lesson 53	A
第 1 0 回	Lesson 63	A
第 1 1 回	e-learning教材学習テスト 2 回目 Lesson 69	A
第 1 2 回	Lesson 75	A
第 1 3 回	Lesson 78	A
第 1 4 回	Lesson 90	A
第 1 5 回	Presentation 2 回目	C
第 1 6 回	The Final Exam	A

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/01/25		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590005025	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2T2) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2T2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sayaka.university gmail.com (メールをする際は、を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	sayaka.university gmail.com (メールをする際は、を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日 12:00~12:30 (メールにて事前に連絡必要)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	学生中心のアクティブラーニング型の授業です。授業開始から終了まで英語を使い続け、英語使用、および英語でのコミュニケーションに慣れることを目的とします。		
授業到達目標/Course goals	1・抵抗なく英語でコミュニケーションが図れるようになる。 2・音読練習を通し単語力・発音・リスニング力を向上させ、英語でのコミュニケーションをより円滑にするためのトレーニングが出来るようになる。 3・主体性をもって他者と協働し、プレゼンテーション成功の為に自ら考え実行に移すことができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above 様々なテーマについて英語で会話をします。瞬発的に自分の意見をまとめ発話します。 F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	Speaking Practice (15点) + プレゼンテーショングループ評価 (30点) + レポート提出 (15点) + e-learning教材学習テスト (40点) 合計100点のうち60点を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	・ e-learning 自学自習(合計30時間) ・ プレゼンテーション準備・授業内のグループミーティングの後、個人での英文作成などを実施(30分/回) ・ 音読練習復習(15分/回) ・ レポートの為に映画鑑賞及びレポート作成(合計10時間)		
キーワード/Keywords	アクティブラーニング		
教科書・教材・参考書/Materials	授業時にプリントを配布します。動画を用い、リスニング及び音読のトレーニングを行います。Speaking 練習の際は、実際の会話でなされると予測される様々なトピックをこちらで準備しますのでそれを用います。併せて学生さんが話したいと自ら思う内容の会話も授業中に皆さんとカードなどを作成し使用します。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考（URL）/Remarks（URL）		
学生へのメッセージ/Message for students	これからの学習、及び社会で英語を実際に使えるように、この授業を通し英語を使うトレーニングをします。今まで学んできたリスニング力、語彙力、文法力を存分に活用し、クラスメイトとのコミュニケーションを試みてください。授業終了後に英語をアウトプットする事に慣れ、少しでも自信をつけてくれたら幸いです。全員、積極的に参加してください。	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	株式会社イーオンにて大人・子供の英会話指導経験/現在英会話・日本語会話スクールLejet主宰	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回9月28日	Orientation Speaking activity Group activity	B C E
第2回10月5日	Listening activity Speaking activity Group activity	B C E
第3回10月12日	Listening activity Speaking activity Group activity	B C E
第4回10月19日	Listening activity Speaking activity Group activity	B C E
第5回10月26日	Listening activity Speaking activity Group activity	B C E
第6回11月2日	e-learning教材学習テスト1回目 Speaking activity Group activity	B C E
第7回11月9日	Presentation 1回目	B C
第8回11月16日	Listening practice Speaking practice Group activity	B C E
第9回11月30日	Listening practice Speaking practice Group activity	B C E
第10回12月7日	Listening activity Speaking practice Group activity	B C E
第11回12月14日	e-learning教材学習テスト2回目 Speaking practice Group activity	B C E
第12回1月4日	Listening activity Speaking practice Group activity	B C E
第13回1月11日	Listening activity Speaking practice Group activity	B C E
第14回1月18日	Presentation 2回目	B C

第15回1月25日	Listening activity Speaking practice Group activity	B C E
-----------	---	-------------

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/01/25		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590005026	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2T3) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	加島 巧 / Kashima Takumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	加島 巧 / Kashima Takumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	加島 巧 / Kashima Takumi		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2T3		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kashimatakumi2020 yahoo.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業時間の前後		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	ねらい: 様々な英語の練習問題を解きながら、英語の理解を深め、コミュニケーション能力を高めてゆく。併せて、プリントの使用で、様々な英語の問題を解いてゆきます。		
授業到達目標 / Course goals	到達目標: 大学入学時までに培われた総合力に加え、1年次に習得した英語力を元に、辞書無しでもテキストの英語を読めるようになることを目指します。TOEIC 650点を目指します。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験 60% (平常点を含む) e-learning教材学習テスト 40% (1回目 20% + 2回目 20%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	e-learning 自主学習 (合計30時間) 予習: 毎回指定された分量のテキストを読んで、授業に臨むこと。(1時間 / 回) 復習: 教科書やプリントを再読し、理解を確実にするように務めること。不明瞭は所は、次の授業で解決出来るように質問を整理しておくこと。(1時間 / 回)		
キーワード / Keywords	TOEIC 650		
教科書・教材・参考書 / Materials	The TOEIC Test Trainer Target 650 Revised Edition (センゲージラーニング株式会社 生協で購入すること。)		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	定期試験の受検資格は大学の規定による。教科書は必ず購入すること。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談ください。 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	授業中の携帯電話の使用は厳禁とします。遅刻もしないように。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Introduction Pre-test プリントをしようした学習は毎回行う。
第2回	提案-時制 1
第3回	確認-時制 2
第4回	会話を始める-助動詞
第5回	ニュース報道-フレーズリーディング
第6回	義務-代名詞
第7回	第1回 e-learning 教材学習テスト 理由-前置詞
第8回	苦情-接続詞
第9回	交通情報-スキミング
第10回	Yes / No で答える質問-関係詞
第11回	第2回 e-learning 教材学習テスト 意見-分詞構文
第12回	意見の一致・不一致-仮定法
第13回	会議-スキミング
第14回	Post-test
第15回	まとめ

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/01/25		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590005027	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2T4) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	川島 浩勝 / Kawashima Hirokatsu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	川島 浩勝 / Kawashima Hirokatsu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	川島 浩勝 / Kawashima Hirokatsu		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2T4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kawashima tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。) 注意: メールのマナー (ビジネスレター等) が守られている場合のみ、返信し、対応する。		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-840-2000 (長崎外国語大学)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後、質問を受けつける。また、話し合いにより、後日、時間を設定する場合がある。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	英語によるコミュニケーションを円滑に行うのに必要とされる口語英語の理解能力の基礎を作る。		
授業到達目標/Course goals	本授業の到達目標は、1) 口語英語のスピード・イントネーション・リズムに対応できる、2) リスニングに対応できる語彙数を増やす、3) 英語のミニマルペアーの聞き分けができる、4) 英語のミニマルペアーを正しく発音できる、5) 英語の連続音を正しく理解し、聞き取ることができる、である。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	基本的に、e-learning教材学習テスト40%・課題30%・期末試験30%で総合的に評価するが、授業の進度等により課題30%・期末試験30%に関しては、割合を若干変更することがある。なお、欠席1回でマイナス7点 (正当な理由がある場合は考慮する) となる等の「授業ルール」があるので注意すること。詳細は、授業で配布する資料を参照すること。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	1) e-learning自学学習: 合計30時間 2) 課題: 毎回2時間の課題が出される (ネット上のニュース等を見て、新しい単語や表現等を整理したり、内容に対して自分の意見をまとめる等)。		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	基本的にはプリント教材を配布するが、授業中実施する英語力診断テストの結果によっては、副教材を購入する場合がある。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	英語学習の意義を再度考え、課題に意欲的に取り組んで欲しい。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業方針の説明・英語力診断テスト
第2回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと口語英語の理解・整理1
第3回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと口語英語の理解・整理2
第4回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと口語英語の理解・整理3
第5回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングとリスニングに対応した語彙力のアップ1
第6回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングとリスニングに対応した語彙力のアップ2
第7回	e-learning教材学習テスト(1回目) アメリカのドラマを題材にしたリスニングとリスニングに対応した語彙力のアップ3
第8回	第2回目から第7回目の授業のまとめ、フィードバック
第9回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと母音・子音のミニマルペアーの整理・理解1
第10回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと母音・子音のミニマルペアーの整理・理解2
第11回	e-learning教材学習テスト(2回目) アメリカのドラマを題材にしたリスニングと母音・子音のミニマルペアーの整理・理解3
第12回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと連続音の整理・理解1
第13回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと連続音の整理・理解2
第14回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと連続音の整理・理解3
第15回	授業全体のまとめ、フィードバック
第16回	学期末試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/01/25		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590005028	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2T5) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟26 / RoomC-26		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2T5		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	soshi tea.ocn.ne.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業終了後 (授業時の教室)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>ビジネスの国際化があらゆる分野に浸透してきた昨今、企業によってはたとえ自分は海外に出張したり、駐在したりしなくても、外国人のクライアントが来社したり、英文メールが送られてきたりして英語でやり取りせざるを得ないという職場環境が増加傾向にあることは衆目の一致するところである。本講座は、将来そうした領域でも対応できるビジネスパーソンを目指しつつ、実践的なビジネス英語の習得を目標とするものである。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<p>英語音声学の知見に基づく授業を通して、英語の音変化の特徴や法則性を理解し、現状以上に英語聴解力を向上させることができる。</p> <p>習得した英語の音変化の特徴や法則性を日常英会話に応用させるべく、実際に英語を使ってコミュニケーションを図る際、円滑な意思の疎通を可能とする正確な発音ができる。</p> <p>実用英語を習得することによって、現状以上に英語発話力を向上させることができる。</p> <p>英文の速読、及び直読直解ができる。</p> <p>日本と諸外国の市民レベルでの生活習慣や生活文化等の差異を正しく認識し、日本人とは異なる価値観や行動様式を持つ人々の存在と多様性を理解することができる。</p> <p>異文化理解の視座から、固定観念で物事を断定せず、常に判断の保留の気持ちと態度を持ってコミュニケーションを図ることができる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	<p>定期試験50%、受講態度、及び授業中の自発的な演習活動 (授業中の発表等) 10%、e-learning教材学習テスト40% (1回目20% + 2回目20%) 等の総合判定によって評価を行なう。なお、課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。</p>		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	<p>詳細は授業計画詳細を参照</p>		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	<p>e-learning自学自習 (合計30時間)</p> <p>事前学習としては、予習時に前週の履修内容を再確認するとともに、出された課題には確実に取り組んで授業に臨んでいただきたい。事後学習としては、履修事項の復習と指示を行なった音声面のトレーニングを翌週の授業まで継続させておくことを必須としたい。(2時間/回)</p>		

キーワード/Keywords	速読、直読直解、同時通訳方式、ビジネス英会話、異文化理解
教科書・教材・参考書/Materials	授業時にハンドアウト教材を配布する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し毎日のトレーニングを継続させることによって、実践的なビジネス英会話を含む実用英米語運用能力の促進が可能となる。従って、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。上述の通り、授業時には発表活動（積極的かつ自発的な発言等）が求められるが、これをポイント制として成績評価の際に加点するため、自主的な姿勢で臨んでほしい。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	授業時には辞書必携です。授業時間内での学習のみで能力を促進させるには限界があるため、例えばNHK教育テレビやラジオの語学番組等を視聴、聴取するなど、とにかく毎日英語に接する時間を捻出することが望まれます。英語に親しむことを習慣にできれば上達は必ず期待できます。限られた時間ですが、一緒にがんばりましょう!!
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション（授業方針についての説明、教材の配布、アンケート、ビジネス英会話のための英語音声に関する基礎事項（既習内容）の確認（1））
第2回	ビジネス英会話のための英語音声に関する基礎事項（既習内容）の確認（2）、Unit 1：現状を報告する（1）
第3回	Unit 1：現状を報告する（2）
第4回	Unit 1：現状を報告する（3）/ 数の英語（位取りの違いに慣れる）、Unit 2：アドバイスを求める
第5回	Unit 2：アドバイスを求める（2）/ チャンツ / メールライティング講座（ビジネスで使うメール）
第6回	Unit 3：手伝ってもらおう（1）
第7回	e-learning教材学習テスト（1回目）、Unit 3：手伝ってもらおう（2）/ ビジネスマナー講座（外国人同僚との意思疎通）
第8回	Unit 4：食事に誘う（1）
第9回	Unit 4：食事に誘う（2）/ チャンツ
第10回	Unit 5：プレゼンテーションを始める（1）
第11回	e-learning教材学習テスト（2回目）、Unit 5：プレゼンテーションを始める（2）/ 数の英語（金額・電話番号の読み方はここに注意!）
第12回	Unit 6：本題について説明する（1）
第13回	Unit 6：本題について説明する（2）/ チャンツ / メールライティング講座（全体の構成を考える）
第14回	Unit 7：プレゼンテーションをまとめる / ビジネスマナー講座（外国人同僚との意思疎通）
第15回	Unit 7：プレゼンテーションをまとめる（2）、本授業の総括
第16回	定期試験 上記授業内容に関する補足 履修内容に関する解説や演習活動により、上記の進度設定が変動する場合もある。

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/01/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590005029	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2F1) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	藤内 則光 / Fujiuti Norimitu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	藤内 則光 / Fujiuti Norimitu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	藤内 則光 / Fujiuti Norimitu		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2F1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	fujuchi tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (ールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-840-2000		
担当教員オフィスアワー/Office hours	外語大335研究室にて随時・要確認		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	この授業では、伝達手段としての英語の基本的な技能と、特に読解能力と聴取能力の相関関係を解説した後、読解と聴解の能力を総合的に向上させる訓練を行う。最終的には、「読んで分かる英語」から「聞いて分かる英語」へと、受講生の英語力を向上させる。		
授業到達目標/Course goals	英語のテレビ放送を聞いて内容を説明できる程度の英語運用能力の獲得を目的とする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	主教材より 各単元課題英作文・ナレーション 計20% 最終課題英語プレゼンテーション作成 20% 平常点20%(英作文提出と副教材解答結果提出) e-learning 教材学習テスト40%(1回目 20% + 2回目 20%) e-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	・ e-learning 自学自習(合計30時間) ・ 予習: 授業の範囲は可能であれば学生のリクエストを聴くので、予習プログラムにあった教科書の範囲に目を通し、事前に音源を聞いてくること(1時間/回) ・ 復習: 教科書を再読し、理解を確実にするよう努めること(1時間/回)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	主教材: NHK NEWSLINE4 (金星堂) 副教材: Campus Listening(成美堂)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	教科書を購入し、発音記号が載っている英和辞典を必ず携行して授業に臨むこと。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	この講義では、DVD素材を利用して音読訓練を行います。タイムを指定して音読させるタイムアタック、テキストを後追いさせるオーバーラッピング、シャドウイングなど、学生の習熟度を診て判断します。
学生へのメッセージ/Message for students	DVDを見て、放送を一通り音読で真似てみる程度の事前訓練をしてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	9/30 オリエンテーション、期末試験の仕様発表、講義の心得確認
第2回	10/7 副教材 Unit 1、主教材 教科書 新章ルーティーン
第3回	10/14 副教材 Unit 3、主教材 教科書 新章ルーティーン
第4回	10/21 副教材 Unit 4、主教材 教科書 次章ルーティーン
第5回	10/28 副教材 Unit 5、主教材 教科書 次章ルーティーン
第6回	11/4 副教材 Unit 6、主教材 教科書 次章ルーティーン
第7回	11/11 e-learning教材学習テスト第一回目 副教材 Unit 7、主教材 教科書 次章ルーティーン
第8回	11/18 副教材 Unit 8、主教材 教科書 次章ルーティーン
第9回	11/25 副教材 Unit 9、主教材 教科書 次章ルーティーン
第10回	12/2 副教材 Unit 11、主教材 教科書 次章ルーティーン
第11回	12/9 副教材 Unit 12、主教材 教科書 次章ルーティーン
第12回	12/16 e-learning教材学習テスト第二回目 副教材 Unit 13、主教材 教科書 次章ルーティーン
第13回	1/6 副教材 Unit 14、主教材 教科書次章ルーティーン
第14回	1/13 副教材 Unit 21、主教材 教科書 次章ルーティーン
第15回	1/27 副教材 Unit 24、主教材 教科書 次章ルーティーン 終了
第16回	2/3 定期試験 90分、提出物最終締め切り

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/01/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590005030	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2F2) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	中村 吏花 / Nakamura Rika		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	中村 吏花 / Nakamura Rika		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	中村 吏花 / Nakamura Rika		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2F2		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	arthur410 hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。) (必ず件名に授業科目・学生番号・氏名を記入すること)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師室		
担当教員TEL / Tel	arthur410 hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。) (必ず件名に授業科目・学生番号・氏名を記入すること)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	木曜昼休み、授業前後		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	英語母語話者に受け継がれている英語の「ものの見方」を具体的な表現を通して学習する。2人もしくは3人以上で協力して行う活動・練習を多く取り入れる。		
授業到達目標 / Course goals	自分が必要とする情報を正確に理解できる。基本的な文法・構文・表現方法を使って、考えを適切に伝えることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験30%、小テスト10%、ペアでの会話発表10%、授業への積極的な参加状況10%、e-learning教材学習テスト40% (60点以上合格)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	<ul style="list-style-type: none"> ・ e-learning 自学自習 (合計30 時間) ・ 予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと (1.5 時間 / 回) テキスト付の音声を確認すること。内容がよくつかめないときは、「何がわからないのか」について深く考えてみましょう。文の構造がどうなっているのか、その文脈ではどういう意味でその単語が使われているのか、代名詞が何を指しているか、など細かく確認していくと、わからないところが少しずつはつきりしてくると思います。リスニングに関しては、一度で完全に聞き取れる人はなかなかいないですから、何度も繰り返し聞いてください。それから繰り返し音読していきましょう。 ・ 復習: 教科書やプリントを再読し、理解を確実にするよう努め、また理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるよう整理しておくこと (1 時間 / 回) 授業の後で再度その内容を振り返ることで英語が定着していきますので、忘れないうちに復習しましょう。 		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	Common Errors in English Writing New edition, Haruo Kizuka, Tsurumi Shoten, 2021		

受講要件 (履修条件) /Prerequisites	授業には必ず予習復習をして臨み、辞書を持参してください(通話・メール機能の付いた電子機器の電子辞書としての使用は原則不可です)。3分の2以上の出席がなければ受験資格を失います(入院・出席停止の伝染病等を除き病欠も欠席扱いとします。正当な理由で欠席する場合は、その証明となる書類を提出してください(コピー可)。授業開始時刻から30分までは遅刻扱いとなります。それ以降の入室は欠席扱いとなります。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	予習・授業・復習をセットにして頑張りましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1回	授業の進め方とe-learningの説明
2回	Salaryとwageはどう違う?(リスニング、英作文)
3回	名詞の誤り(リーディング、文法)
4回	可算名詞でも冠詞が付かない慣用表現(リスニング、文法)
5回	冠詞の誤り(リーディング)
6回	put onとwearの違い(リスニング、英作文)
7回	e-learning学習教材テスト1回目、動詞の誤り1(リーディング、文法)
8回	よく間違えるriseとraise(リスニング、英作文)
9回	動詞の誤り2(リーディング、文法)
10回	時制の誤り(リスニング、リーディング)
11回	動詞+名詞の誤り(リスニング、リーディング)
12回	e-learning学習教材テスト2回目、準動詞(不定詞・動名詞・分詞)の誤り(リーディング、文法)
13回	look forward toのあとは?(リスニング・英作文)
14回	ペアでの会話発表(日常の一場面を演じる)
15回	リスニング・リーディングのポイント確認
16回	定期試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/01/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590005031	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2F3) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山口 敦子 / Yamaguti Atuko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	山口 敦子 / Yamaguti Atuko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	山口 敦子 / Yamaguti Atuko		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2F3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a_yamaguchi n-junshin.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-846-0084		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	若者にとって興味深い内容の映画を視聴しながら、内容を理解し、リスニング力や語彙力、表現力を強化する。また映画の内容に関連した文化的、或いは社会的なトピックに関して、英語のプレゼンテーションを行う。		
授業到達目標/Course goals	映画の中の生き生きとした英語を聞くことで、リスニング力を向上させ、内容をおおまかに把握できるようになる。さらに英語で自分の意見やコメントをまとめ、論理的に表現することができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above プレゼンテーション F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	プレゼンテーション 20% 定期試験 40% e-learning教材学習テスト40% (1回目20% + 2回目20%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	e-learning 自学自習(合計30時間) 予習: 各ユニットの練習問題を予習し、テキストの指定された範囲に目を通すこと。またプレゼンテーションの準備をする。(1時間/回) 復習: 授業中に取り上げたテキストの箇所や練習問題を再読し、期末試験に備えておく。(30分/回)		
キーワード / Keywords	リスニング、プレゼンテーション、語彙、文化、英詩、映画		
教科書・教材・参考書 / Materials	『Dead Poets Society 今を生きる』(音羽書房鶴見書店)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	毎回練習問題や課題の予習をして授業に臨むこと		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	若者にとって興味深く、文化的背景に広がりのある映画を教材として取り上げています。映画を言語的、そして文化的に理解する楽しさが、きっと英語の学習意欲を高めてくれるでしょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業の進め方について プレゼンテーションについての説明 映画Dead Poets Society についての説明と鑑賞
第2回	Unit 1: A New Semester 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク
第3回	Unit 2: Seize the Day 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク
第4回	Unit 3: An Invitation to Poetry 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク
第5回	Unit 4: Free Thinkers 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク 、 プレゼンテーション
第6回	Unit 5: Dead Poets Society 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク
第7回	e-learning 教材学習テスト1回目 Unit 6: Your Own Voice 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク 、 プレゼンテーション
第8回	Unit 7: Poetry Class 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク 、 プレゼンテーション
第9回	Unit 8: Conformity vs. Individuality 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク 、 プレゼンテーション
第10回	Unit 9: Time for Action 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク 、 プレゼンテーション
第11回	Unit 10: Father and Son 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク 、 プレゼンテーション
第12回	e-learning 教材学習テスト2回目 Unit 11: A Midsummer Night's Dream 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク 、 プレゼンテーション

第13回	Unit 12: The End of the Society 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明,ペアワーク或いはグループワーク
第14回	Unit 13: Betrayal 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明,ペアワーク或いはグループワーク、 プレゼンテーション
第15回	Unit 14: Oh, Captain! My Captain! 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明,ペアワーク或いはグループワーク、 プレゼンテーション
第16回	定期試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/01/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590005032	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2G1) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	廣江 顕 / Akira Hiroe		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2G1		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	ahiroe nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	環境科学部東棟1階		
担当教員TEL / Tel	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー / Office hours	メールにより随時受け付ける。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	発信型能力のうちライティング力に焦点を当て、前学期「総合英語」で培ったライティング力を活かし、各時間一定量の英文の素早く読み、概要あるいは大意を英語でまとめられる訓練を行う。		
授業到達目標 / Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・一定量の英文を素早く読み、その概要あるいは趣旨を英語で簡潔にまとめられるようになる。 ・学術的な文体というものを意識し、その文体に合った表現の量を増やすことができる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	提出物(60%)、e-learning教材学習テスト2回(40%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	e-learning自学自習 (合計30時間) 授業の予習・課題2時間/回 事後学習として返却課題の復習チェック2時間/回		
キーワード / Keywords	academic writing, summary writing		
教科書・教材・参考書 / Materials	プリント教材を使用する。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	前学期「総合英語」で培ったライティング力を踏まえ、その力を一般的な一定量の英文の要約や大意把握をする際に応用できるようにします。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name/Details of practical experience/Contents of course	
授業計画詳細/Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents
1回目	オリエンテーション, ・e-learning教材学習の説明 ・level check writing
2回目	プリント教材1 *受講学生は、LACSの「授業資料」にアップされた教材を毎時間200字程度で要約してくる。こと。 *毎時間、あらかじめ指名された学生は、自己紹介をMicrosoft Power Pointを使ってプレゼンすること。
3回目	プリント教材2 ・Summary check ・Self-introduction (2)
4回目	プリント教材2 ・Summary check ・Self-introduction (3)
5回目	プリント教材3 ・Summary check ・Self-introduction (4)
6回目	プリント教材4 ・Summary check ・Self-introduction (5)
7回目	e-learning教材学習テスト1回目 DictationのためのDVD教材(1)
8回目	プリント教材5 ・Summary check DictationのためのDVD教材(2)
9回目	プリント教材6 ・Summary check ・Self-introduction (6)
10回目	プリント教材7 ・Summary check ・Self-introduction (7)
11回目	プリント教材8 ・Summary check ・Self-introduction (8)
12回目	e-learning教材学習テスト2回目 Self-introduction (9)
13回目	プリント教材9 ・Summary check ・Self-introduction (10)
14回目	プリント教材10 ・Summary check
15回目	まとめ&今後の課題 *学生には、各自の英語力について自己分析させる。

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/01/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590005033	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2G2) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	隈上 麻衣 / Kumagami Mai		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	隈上 麻衣 / Kumagami Mai		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	隈上 麻衣 / Kumagami Mai		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟25 / RoomC-25		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2G2		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	mkumagami@nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	環境科学部実験棟1階		
担当教員TEL / Tel	095-819-2172		
担当教員オフィスアワー / Office hours	火曜3限(別の時間を希望の場合は、メールによるアポイントメントにて随時受け付ける)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	本授業では、下記のテキストを使用し、リスニング・スピーキングの力を向上させる。英語の音の特徴を概観し、それを意識した上で聞き取り練習や発音練習(音読)を繰り返し行い、英語を運用するための基礎力を養う。		
授業到達目標 / Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なトピックを扱うことにより語彙力などの基礎力を向上させ科学的な内容についても概要を捉えることができるようになる。 ・英語の会話・談話の大意が素早く掴めるようになる。 ・与えられた課題に関して、論理的かつ簡潔に自分の意見が述べられるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	積極的な授業への参加 (10%), プレゼンテーション (30%), 小テスト(20%), e-learning教材学習テスト 40%(1回目 20%+2回目 20%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	毎回予習を兼ねて小テストを実施する。教科書の語彙を学習してくる。その他予習・復習、課題の詳細は授業内およびLACS上で指示する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ e-learning 自学自習(合計 30 時間) ・ 予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習(1 時間/回) ・ 復習: 教科書やプリントを再読し、理解を確実にするよう努め、また理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるよう整理しておくこと(1 時間/回) 		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	English through Active Learning, 朝日出版		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考(URL)/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	隈上 麻衣/アメリカの日本人学校(補習校)での勤務経験/海外での日本語教育・初等教育経験がある教員が,多言語使用環境での教育に関する知識・経験を活かし,第二言語学習者の知識状態や発達過程について講義を行う。/ニューヨーク育英学園
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回: 9/30	Orientation
第2回: 10/7	Unit 1 Speech (Self-Introduction)
第3回: 10/14	Unit 2, E-mail writing (1)
第4回: 10/21	Unit 3, E-mail writing (2)
第5回: 10/28	Unit 4
第6回: 11/4	Unit 5, Pronunciation
第7回: 11/11	e-learning教材学習テスト1回目 Unit 6, Pronunciation
第8回: 11/18	Unit 7, Brain storming
第9回: 11/25	Unit 8, Brain storming
第10回: 12/2	Unit 9, Presentation preparation
第11回: 12/9	Unit 10, Presentation preparation
第12回: 12/16	e-learning教材学習テスト2回目 Unit 11, Presentation preparation
第13回: 1/6	Unit12 Presentation
第14回: 1/13	Presentation
第15回: 1/27	Presentation

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/01/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590005034	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2G3) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	奥田 阿子 / Ako Okuda		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2G3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a-okuda nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	教養教育講義棟 B棟1F		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	まずは、メールにて質問を受け付けます。a-okuda nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ニュースを通して、時事ネタを英語で学ぶ。授業では、オーセンティックな教材を使用しながらリスニング、リーディングの指導を行う。また、興味のあるニュースについて調べ、理解し、他者と意見交換を行う。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単なニュースであれば、概要を理解できるようになる。 ・自分が興味のあるニューストピックを見つけ、調べ、英語で概要をまとめられるようになる。 ・自分の意見を簡潔に英語で伝えられるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	e-learning教材学習テスト(2回): 40% 授業中の取り組み、発表評価: 25% 小テスト: 15% 期末テスト: 20%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	e-learning自学自習(合計30時間) 予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通し、次の時間に発表できるように自分の考えをまとめ、英語で発表できるよう準備する。(1時間/回) 復習: 配布資料等を見直し、理解を確実にするよう努め、また理解が不十分な点については次の授業までにLACSの掲示板に投稿すること。(30分/回)		
キーワード/Keywords	ニュース、CNN		
教科書・教材・参考書/Materials	CNNショートニュースを用いたリスニング・リーディング		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考 (URL) /Remarks (URL)		
学生へのメッセージ/Message for students		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience		
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	オリエンテーション アンケートへの回答 プレテスト	F
第2回	Unit 1、Unit 2 グループ内でのディスカッション 自分の考えをまとめ、英語で発表する	A B
第3回	Unit 3、Unit 4 グループ内でのディスカッション 自分の考えをまとめ、英語で発表する	A B
第4回	Unit 5、Unit 6 グループ内でのディスカッション 自分の考えをまとめ、英語で発表する	A B
第5回	Unit 7、Unit 8 グループ内でのディスカッション 自分の考えをまとめ、英語で発表する	A B
第6回	Unit 9、Unit 10 グループ内でのディスカッション 自分の考えをまとめ、英語で発表する	A B
第7回	e-learning教材学習テスト1回目 Unit 11、Unit 12 グループ内でのディスカッション 自分の考えをまとめ、英語で発表する	A B
第8回	Unit 13、Unit 14 グループ内でのディスカッション 自分の考えをまとめ、英語で発表する	A B
第9回	Unit 15 グループ内でのディスカッション 自分の考えをまとめ、英語で発表する	A B
第10回	グループで興味のあるニュースを選び、関連記事を探す。	B
第11回	グループで興味のあるニュースを選び、関連記事を探す。	D
第12回	e-learning教材学習テスト2回目 グループで興味のあるニュースを選び、関連記事について調べる。	D
第13回	グループで興味のあるニュースを選び、関連記事について自分達の意見をまとめる。	D
第14回	プレゼンテーション	B
第15回	フィードバック、振り返りとまとめ	A
第16回	期末テスト	E

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/01/28		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590005035	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2E4) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2E4		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	etudians_nagu yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	金曜日 12時より		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>基本的で実用的な英会話の表現を習得し、表現の基礎の定着を図る。話すことと聴くことの技能を身に着ける。ダイアログの暗記をするのみではなく、構文や文法に留意して、基本的な理解力を確かなものにする。語彙を増やし、文法を理解し表現の感覚を磨く。対話力を向上させ、自分の言いたいことを表現できる豊かな表現力へと応用できる能力を養う。自分の言いたいことを表現できるコミュニケーションに対する意欲を持ち、自主的に話せるようになることを目的とする。基礎を固めた上で、自分の言いたいことを表現できるようになる。練習問題により、語彙を増やし、文法を身に着け、表現の応用ができるようになる。英会話とコミュニケーションに対する関心・興味を持ち、各自が目標を定めて積極的に学習の場を求めていく態度を養う。大学生活における英語表現を通して、ダイアログの背景や、英国とその文化に対する理解を深めることができる。また、各自の現在の能力をさらに向上させるようにする。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<p>基本的・実用的な英会話の表現を覚え、話すことができるようになる。語彙力を増強することができるようになる。英語の構文・文法・表現について理解を深めることができるようになる。美しい発音ができ、リスニングの能力を養える。表現を声に出して述べるようになる。基礎を固めた上で、自分の言いたいことを表現できるようになる。適語選択問題により、語彙を増やし、文法を身に着け、表現の応用ができるようになる。英会話とコミュニケーションに対する関心・興味を持ち、各自が目標を定めて積極的に学習の場を求めていく態度を養うことができるようになる。日常会話を通して、ダイアログの背景や、英語圏の文化に対する理解を深めることができるようになる。また、各自の現在の能力をさらに向上させることができるようになる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定定期試験 (40%) + e-learning 教材学習テスト (40%) + 小テスト (10%) + 積極的な授業への参加 (10%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<ul style="list-style-type: none"> ・ e-learning 自学自習（合計30時間） <p>毎回必ず、英単語を調べ、英文テキストを読み、音声教材を聴き、問題を解いて授業に臨むこと。 音声教材を必ず自宅で事前に聴いておいてください。</p> <p>授業後は改めてテキストを熟読し、疑問点がないように理解を確かなものにします。 小テスト等で確認しますので、予習・復習を徹底しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 予習： 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習（2時間/回） ・ 復習： 教科書やプリントを再読し、理解を確実にするよう努め、また理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるよう整理しておくこと。（2時間/回）
キーワード/Keywords	大学生活における様々な状況の中での英会話のダイアログ / 有用な英語表現とその応用 / 多彩なトピックス / 豊富な練習問題 / リーディング教材
教科書・教材・参考書/Materials	Chat and Share! 『話してみよう!トピックベースの英会話』（Diane H. Nagatomo: 金星堂） 音声教材は、 http://www.kinsei-do.co.jp/download/4106 から、無料でダウンロードしておきましょう。 英和辞典（電子辞書）を必携すること。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	授業には全回出席しましょう。授業では、英語表現を覚えながら話す練習を、時間のある限り力を入れて行います。発音など声を出しての活動は、積極的に参加することを期待します。必ず予習をして臨んでください。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	授業中は、とにかく発声練習を徹底しますので、映像を初めて見る時間などありません。 必ず事前の自宅学習で、DVDを見て問題を解き、ダウンロードした音声教材を何度も聴いておきましょう。 クラスに出て初めてテキストや音声に触れるようなことがないようにしてください。
学生へのメッセージ/Message for students	必ず予習をして授業に臨んでください。必ず予め英単語の意味を調べ、問題を解いておきましょう。毎日繰り返し練習し、復習を行うことが、学習効果を上げる為に重要です。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 10月 1日	導入・授業内容の説明
第2回 10月 8日	Chapter 1 Campus Life
第3回 10月15日	Chapter 2 Weekends
第4回 10月22日	Chapter 3 Japanese Culture
第5回 10月29日	Chapter 4 Healthy Living
第6回 11月 5日	Chapter 5 Fashion
第7回 11月12日	第1回 e-learning 教材学習テスト Chapter 6 Lifestyle
第8回 11月19日	Chapter 7 Celebrations
第9回 11月26日	Chapter 8 Travel
第10回 12月 3日	Chapter 9 Food
第11回 12月10日	Chapter 10 The Environment
第12回 12月17日	第2回 e-learning 教材学習テスト Chapter 11 Business
第13回 1月 7日	Chapter 12 The Internet and Social Media
第14回 1月21日	Chapter 13 Sports
第15回 1月28日	Chapter 14 A Barrier-free Society
第16回 2月 4日	定期試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/01/28		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590005036	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2E5) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	上村 俊彦 / Uemura Toshihiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	上村 俊彦 / Uemura Toshihiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	上村 俊彦 / Uemura Toshihiko		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2E5		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	yandi_sun.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	メールでお願いします。		
担当教員オフィスアワー / Office hours	金曜日 1時限目終了後		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	多様な英文テキスト、生の英語音声・映像の学習を通じて英語の受信・発信運用能力を高める。		
授業到達目標 / Course goals	英語の学習を通じて多様な世界に興味を持つとともに、日本の社会や文化を再認識する機会を持つ。自分の考えを基本的な英語を使い発信することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above 自習課題としてオンライン教材を利用 F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	e-learning教材学習テスト 40% クラスワーク 60% (中間・期末試験 40%、提出物・自律学習 20%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	e-learning教材自学自習 (合計30h) 事前: クラス学習範囲のオンライン音源・映像コンテンツの確認 (1/2h) 事後: 自律学習としてMyELTコンテンツを利用 (1h)		
キーワード / Keywords	CEFR B1、MyELT		
教科書・教材・参考書 / Materials	Soars, L. & J. and Hancock, P. (2019). Headway 5e Intermediate, Student's Book B with Online Practice. Oxford: Oxford University Press.		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	毎回、Listening quizを課します。 オンラインリソース (MyELT) の自律学習。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)	www.headwayonline.com		

学生へのメッセージ/Message for students	クラスワークとともに、課外の音読ドリルを習慣化しましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Orientation headway online practice について
第2回	Unit 7 A (Reading) Boarding school (Gr.) Verb patterns (Voc.) Body language
第3回	Listening Quiz Unit 7 B (Video) Redroofs school for performing arts (E.E.) You poor thing!
第4回	Listening Quiz Unit 8 A (Reading) Boy wonder - Taylor Wilson (Gr.) Future forms (Voc.) Word building
第5回	Listening Quiz Unit 8 B (Video) Space (E.E.) Arranging to meet
第6回	Listening quiz Unit 9 A (Reading) The sharing economy (Gr.) Conditionals (Voc.) Words with similar
第7回	e-learning教材学習テスト1回目 Unit 9 B (Video) What is hygge? (E.E.) Money matters
第8回	Review Unit 7 to Unit 9 Midterm test
第9回	Unit 10 A (Reading) Why on earth would anyone do that? (Gr.) must be/ can't be/ looks like ... (Voc.) Phrasal verbs
第10回	Listening quiz Unit 10 B (Video) Amazing world records (E.E.) Expressing attitude
第11回	Listening quiz Unit 11 A (Reading) Digital animation (Gr.) Noun phrases (Voc.) Compound nouns
第12回	e-learning教材学習テスト2回目 Unit 11 B (Video) Performance capture (E.E.) I need one of those things ...
第13回	Listening quiz Unit 12 A (Reading) Lives that make a difference (Gr.) Reported speech (Voc.) Ways of
第14回	Listening quiz Unit 12 B (Video) Making a difference (E.E.) Talking in cliches
第15回	Review Unit 10 to Unit 12
第16回	End of the term test (最終試験)

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/01/28		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590005037	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2E6) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2E6		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	r_otsubo hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	r_otsubo hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	r_otsubo hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)にて受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	この授業は、私たちが抱えるTPP問題、憲法9条問題、遺伝子組み換え食品問題など、様々な問題に対して理解を深め、それらの問題にたいする自身の考えをグループディスカッションでアウトプットする力をつけていきます。		
授業到達目標 / Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1. テキストで扱うトピックを多角的視点から捉えることができるようになる。 2. 論理的・批判的に物事を考えることができるようになる。 3. 適切な自己表現能力を身に着けることができるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	内容理解確認小テスト (10回 × 2点 = 20点) + writing・speaking (10点) + 定期試験 (30点) + e-learning教材学習テスト (40点) = 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	<ul style="list-style-type: none"> ・ e-learning 自学自習 (合計30時間) ・ 予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また、小テストに向けた学習 (1時間 / 回) ・ 復習: 教科書を再読し、理解を確実にするよう努め、また、理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるよう整理しておくこと (1時間 / 回) 		
キーワード / Keywords	ディベート		
教科書・教材・参考書 / Materials	Pros and Cons (CENGAGE Learning) 2,000円 + 税		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	授業は必ず予習をして臨んでください。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 (10/1)	Introduction
第2回 (10/8)	Unit 1 Internet Safety or Freedom of Expression?
第3回 (10/15)	Unit 1 内容理解確認小テスト Unit 2 Honor or Burden?
第4回 (10/22)	Unit 2 内容理解確認小テスト Unit 3 Clean Energy or Potential Threat?
第5回 (10/29)	Unit 3 内容理解確認小テスト Unit 4 Real Risk or Great Technology?
第6回 (11/5)	Unit 4 内容理解確認小テスト Unit 5 Legalization or Outlawing of Gay Marriage?
第7回 (11/12)	e-learning教材学習テスト1回目 Unit 6 Separate Smoking Area or Total Ban?
第8回 (11/19)	Unit 6 内容理解確認小テスト Unit 7 Right to Die or Responsibility to Live?
第9回 (11/26)	Unit 7 内容理解確認小テスト Unit 8 Punishment or Discipline?
第10回 (12/3)	Unit 8 内容理解確認小テスト Unit 9 To Skip or Not to Skip?
第11回 (12/10)	Unit 9 内容理解確認小テスト Unit 10 Performance or Seniority?
第12回 (12/17)	e-learning教材学習テスト2回目 Unit 11 Free Trade or Protection?
第13回 (1/7)	Unit 11 内容理解確認小テスト Unit 12 Animal Rights or Human Profits?
第14回 (1/21)	Unit 12 内容理解確認小テスト Unit 13 Peace Constitution or Revision?
第15回 (1/28)	Unit 14 Death Penalty or Human Rights? 総復習
第16回 (2/4)	定期試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/01/28		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590005038	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2E7) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	Fritz Robinson / Robinson Fritz		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	Fritz Robinson / Robinson Fritz		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	Fritz Robinson / Robinson Fritz		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2E7 Students who are enrolled onto the Faculty of Economics International Business Plus Program can only register.		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	rob-fritz nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	経済学部の本館503		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	Students are welcome to visit my office at any time to ask questions (08:50 to 17:40 weekdays). However, please contact me by email to make an appointment.		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	The purpose of this course is to allow students to focus on improving skills and attitudes to use English for communication. The course builds on subjects such as communication, culture, intercultural communication from previous International Business Plus course (i.e. Communication II, Global Business Comm 1 and Presentations & Discussions). The overall intention is that students gain a greater self-awareness of their own		
授業到達目標/Course goals	The main student goals are: - Identify and assess own strengths and weakness of skills and attitude to communicate in English - Use communication strategies to explain ideas in English - Examine own attitudes to use English outside of the classroom		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	End of semester presentation: 20% (topic will be decided within the first 5 classes) Homework: 40% (Weekly home assignments) e-learning Quiz 1 : 20% e-learning Quiz 2: 20%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<p>reparation: Class handout and materials will be uploaded to the online Google Classroom. To help student comprehension for the class, students are expected to check and read these materials. For example, students will be be online videos (i.e. TED talks, Youtube videos), read internet articles etc (2hours/time).</p> <p>Review: After the class, students are expected to review by themselves. The aim is for students to find out what points they understood, and what they still do not understand well. Students are encouraged to review by using the notes that they made during the class. Especially, students are encouraged to try and understand the class content that they did not understand well. The main recommendation for this is to make small study groups with other class members (2hours/time).</p> <p>e-learning self-study (Total 30 hours)</p>
キーワード/Keywords	communication, culture, intercultural communication, communication strategies, attitudes, skills
教科書・教材・参考書/Materials	No textbook. The teacher will give handouts in every class.
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	Students are expected to have taken English Communication II and/or Global Business Communication I
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>In order to ensure equal educational opportunities for all students, Nagasaki University strives to remove societal barriers that may interfere with academic activities, and to provide reasonable accommodations as necessary and appropriate. If you have any questions or concerns regarding reasonable accommodations or other support in this class, please feel free to talk to the instructor (contact information above), or contact the Student Accessibility Office.</p> <p>Student Accessibility Office contact information (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948</p>
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1st	Class 1. Introductions. The course, aims and evaluation will be introduced.
2nd	<p>Class 2. "I want to become fluent in English".</p> <p>Using research by the instructor into intercultural communication, intercultural education, learner psychology and neuroscience, this class will give an overview of how a person can become fluent in English.</p>
3rd	<p>Class 3. Self-awareness of own communication beliefs, values and behaviour (part 1)</p> <p>This class will encourage students to discover about why they have certain beliefs, values and behaviours to communicate in English and Japanese.</p>
4th	<p>Class 4. Self-awareness of own communication beliefs, values and behaviour (part 2)</p> <p>This class will encourage students to discover about why they have certain beliefs, values and behaviours to communicate in English and Japanese.</p>
5th	<p>Class 5. Self-awareness of own communication beliefs, values and behaviour (part 3)</p> <p>This class will encourage students to discover about why they have certain beliefs, values and behaviours to communicate in English and Japanese.</p>
6th	<p>Class 6. Communication strategy #1 (review and practice)</p> <p>About fillers. This class will review and practice(from Communication II) what are fillers and why they are used in communication</p>
7th	Class 7. e-learning Quiz 1
8th	<p>Class 8. Communication strategy #1 (review and practice part 2)</p> <p>About fillers. This class will review and practice (from Communication II) what are fillers and why they are used in communication</p>

9th	<p>Class 9. Communication strategy # 2 (part 1)</p> <p>About back channelling. Students will learn and become aware about the purpose of back channelling in communication. Various activities will be carried out to allow students to practice and become familiar with back channelling.</p>
10th	<p>Class 10. Communication strategy # 2 (part 2)</p> <p>About back channelling. Students will learn and become aware about the purpose of back channelling in communication. Various activities will be carried out to allow students to practice and become familiar with back channelling.</p>
11th	<p>Class 11. Communication strategy # 3 (part 1)</p> <p>About paraphrasing. Students will learn and become aware about the purpose of paraphrasing in communication. Various activities will be carried out to allow students to practice and become familiar with paraphrasing.</p>
12th	<p>e-learning Materials Quiz #2</p> <p>Class 12. Discussion.</p> <p>Students will have small group discussions to discuss about what they have learned about their own beliefs, values and behaviour in English and Japanese communication. The purpose is to improve group dynamics.</p>
13th	Class 13. Review of communication strategies learned and practice until now..
14th	Class 14.
15th	Class 15. Review of Communication III. Students will self-evaluate themselves about they have learned and/or developed from this course.

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/01/28		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590005039	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2E1) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	上村 俊彦 / Uemura Toshihiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	上村 俊彦 / Uemura Toshihiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	上村 俊彦 / Uemura Toshihiko		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2E1		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	yandi_sun.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	連絡は電子メールでお願いします。		
担当教員オフィスアワー / Office hours	金曜日12:00 ~ 12:30		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	多様な英文テキスト、生の英語音声・映像の学習を通じて英語の受信・発信運用能力を高める。		
授業到達目標 / Course goals	英語の学習を通じて多様な世界に興味を持つとともに、日本の社会や文化を再認識する機会を持つ。自分の考えを基本的な英語を使い発信することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above クラスコンテンツを用いた音読ドリル F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	e-learning教材学習テスト 40% クラスワーク 60% (中間・期末試験 40%、提出物・自律学習 20%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	e-learning教材自学自習 (合計30h) 事前: クラス学習範囲のオンライン音源・映像コンテンツの確認 (1/2h) 事後: 自律学習としてMyELTコンテンツを利用 (1h)		
キーワード / Keywords	CEFR B1、MyELT		
教科書・教材・参考書 / Materials	Soars, L. & J. and Hancock, P. (2019). Headway 5e Intermediate, Student's Book B with Online Practice. Oxford: Oxford University Press.		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	毎回、Listening quizを課します。 オンラインリソース (MyELT) の自律学習		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)	headwayonline.com		

学生へのメッセージ/Message for students	クラスワークとともに、課外の音読ドリルを習慣化しましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Orientation headway online practice
第2回	Unit 7 A (Reading) Boarding school (Gr.) Verb patterns (Voc.) Body language
第3回	Listening quiz Unit 7 B (Video) Redroofs school for performing arts (E.E.) You poor thing!
第4回	Listening quiz Unit 8 A (Reading) Boy wonder - Taylor Wilson (Gr.) Future forms (Voc.) Word building
第5回	Listening quiz Unit 8 B (Video) Space (E.E.) Arranging to meet
第6回	Listening quiz Unit 9 A (Reading) The sharing economy (Gr.) Conditionals (Voc.) Words with similar
第7回	e-learning教材学習テスト1回目 Unit 9 B (Video) What is hygge? (E.E.) Money matters
第8回	Review Unit 7 to Unit 9 & Midterm test
第9回	Unit 10 A (Reading) Why on earth would anyone do that? (Gr.) must be/ can't be/ looks like ... (Voc.) Phrasal verbs
第10回	Listening quiz Unit 10 B (Video) Amazing world records (E.E.) Expressing attitude
第11回	Listening quiz Unit 11 A (Reading) Digital animation (Gr.) Noun phrases (Voc.) Compound nouns
第12回	e-learning教材学習テスト2回目 Listening quiz Unit 11 B (Video) Performance capture (E.E.) I need one of those things ...
第13回	Listening quiz Unit 12 A (Reading) Lives that make a difference (Gr.) Reported speech (Voc.) Ways of
第14回	Unit 12 B (Video) Making a difference (E.E.) Talking in cliches
第15回	Review Unit 10 to Unit 12

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/01/28		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590005040	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2E2) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2E2		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	etudians_nagu yahoo.co.jp (メールをする際は、 @に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	金曜日 12時より		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>基本的で実用的な英会話の表現を習得し、表現の基礎の定着を図る。話すことと聴くことの技能を身に付ける。暗記をするのみではなく、構文や文法に留意して、基本的な理解力を確かなものにする。語彙を増やし、文法を理解し、表現の感覚を磨く。対話力を向上させ、自分の言いたいことを表現できる豊かな表現力へと応用できる能力を養う。自分の言いたいことを表現できるコミュニケーションに対する意欲を持ち、自主的に話せるようになることを目的とする。英語の歌を通して、英米の文化を学ぶ。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<p>英語のフレーズの詳細な解説を行い、文法と構文、及び表現の指導をする。このことによって、英文を容易に組み立てることができるようになる。英語の単語や表現を声に出して練習し、正確で美しい発音ができるようになる。声に出すことで覚えた英語のフレーズを使用して、さらには自らの意見を英語で表現できるようになる。CDを活用し、何度も聴いてリピーティングをすることでリスニングの指導を行い、英語を正しく聴き取れるようになる。スキルの定着を図り、英語の能力を向上させることができる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験 (40%) + e-learning 教材学習テスト (40%) + 小テスト (10%) + 積極的な授業への参加 (10%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	<p>・ e-learning 自学学習 (合計30時間) 毎回必ず、英単語を調べ、英文テキストを読み、CDを聴き、授業に臨むこと。授業後は改めてテキストを熟読し、疑問点がないように理解を確かなものにします。小テスト等で確認をしますので、予習・復習を徹底しましょう。 ・ 予習：事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習 (2時間/回) ・ 復習：教科書やプリントを再読し、理解を確実にするよう努め、また理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるよう整理しておくこと。 (2時間/回)</p>		
キーワード / Keywords	英米の歌 / 文法と発音の強化 / 英語表現の容易な定着 / コミュニケーションのための文化の理解		

教科書・教材・参考書/Materials	『Enjoying English through Pop Songs』 (関戸冬彦 / 小林愛明 他: 朝日出版社) 音声は無料配信されています。 http://text.asahipress.com/free/english/ 英和辞典(電子辞書)を必携すること。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	授業には全回出席しましょう。発音など声を出しての活動は、積極的に参加することを期待します。 必ず予習をして音声を聴いてから臨んでください。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考(URL)/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	授業には必ず予習をして臨んでください。音声を聴き、英単語の意味をあらかじめ調べて、文章の大意をつかんでおきましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 10月 1日	導入・授業内容の説明
第2回 10月 8日	UNIT 1 Stand by Me
第3回 10月15日	UNIT 2 Jailhouse Rock
第4回 10月22日	UNIT3 Blowin' in the Wind
第5回 10月29日	UNIT 4 Puff, the Magic Dragon
第6回 11月 5日	UNIT 5 I've Gotta Get a Message to You
第7回 11月12日	第1回 e-learning 教材学習テスト UNIT 6 Bridge Over Troubled Water
第8回 11月19日	UNIT 7 Take Me Home, Country Roads
第9回 11月26日	UNIT 8 Imagine
第10回 12月 3日	UNIT 9 I Need to Be in Love
第11回 12月10日	UNIT 10 Honesty
第12回 12月17日	第2回 e-learning 教材学習テスト UNIT 11 Hotel California
第13回 1月 7日	UNIT 12 I Just Called to Say I Love You
第14回 1月21日	UNIT 13 '80s
第15回 1月28日	UNIT 14 '80s
第16回 2月 4日	定期試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/01/28		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590005041	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2E3) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2E3		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	r_otsubo hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	r_otsubo hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	r_otsubo hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)にて受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	この授業は、SNS、AI、移民など私たちが抱える様々な問題に対して理解を深め、それらの問題に対する自身の考えをグループディスカッションでアウトプットする力をつけていきます。		
授業到達目標 / Course goals	1. テキストで扱うトピックを多角的視点から捉えることができるようになる。() 2. 論理的・批判的に物事を考えることができるようになる。() 3. 適切な自己表現能力を身に付けることができるようになる。()		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	内容理解確認小テスト (10回×2点=20点) + writing・speaking(10点) + 定期試験 (30点) + e-learning教材学習テスト (40点) = 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	・ e-learning 自学自習 (合計30時間) ・ 予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また、小テストに向けた学習 (1時間/回) ・ 復習: 教科書を再読し、理解を確実にするよう努め、また、理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるよう整理しておくこと (1時間/回)		
キーワード / Keywords	ディベート		
教科書・教材・参考書 / Materials	Take a Stance (NATIONAL GEOGRAPHIC LEARNING) 2,000円 + 税		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	授業は必ず予習をして臨んでください。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 (10/1)	Introduction
第2回 (10/8)	Unit 1 Staying Connected with Friends or Being Exposed to Risks?
第3回 (10/15)	Unit 1 内容理解確認小テスト Unit 2 Women's Protection or Gender Equality?
第4回 (10/22)	Unit 2 内容理解確認小テスト Unit 3 Eco or Ego?
第5回 (10/29)	Unit 3 内容理解確認小テスト Unit 4 A Rewarding Pastime or a Waste of Time?
第6回 (11/5)	Unit 4 内容理解確認小テスト Unit 5 Democracy: Its Advantages and Disadvantages
第7回 (11/12)	e-learning教材学習テスト1回目 Unit 6 Hopes and Fears around Casinos
第8回 (11/19)	Unit 6 内容理解確認小テスト Unit 7 Should High Schoolers Work Part-time?
第9回 (11/26)	Unit 7 内容理解確認小テスト Unit 8 The Pros and Cons of Globalization
第10回 (12/3)	Unit 8 内容理解確認小テスト Unit 9 Humans or AI?
第11回 (12/10)	Unit 9 内容理解確認小テスト Unit 10 A Valuable Experience or a Disadvantage in Job Hunting?
第12回 (12/17)	e-learning教材学習テスト2回目 Unit 11 Big Government or Limited Government?
第13回 (1/7)	Unit 11 内容理解確認小テスト Unit 12 Are the Homeless Responsible for Their Homelessness?
第14回 (1/21)	Unit 12 内容理解確認小テスト Unit 13 Severe Punishment or Rehabilitation?
第15回 (1/28)	Unit 14 Open Borders or Closed Societies? 総復習
第16回 (2/4)	定期試験